

**木曾町まちづくりアンケート調査
集計結果報告書**

**平成18年12月
木曾町**

目次

第1編 調査の概要.....	3
第1章 調査の目的.....	3
第2章 調査の方法.....	3
第3章 分析の方法.....	3
第2編 アンケート集計結果.....	4
第1章 属性.....	4
第2章 町の暮らしやすさについて.....	9
第3章 各分野の満足度について.....	13
第4章 まちづくりの方向について.....	19
第5章 保健・福祉について.....	20
第6章 身近な地域について.....	24
第7章 環境問題について.....	25
第8章 防災について.....	26
第9章 交通対策について.....	27
第10章 地域情報化について.....	29
第11章 産業振興策について.....	30
第12章 学習・スポーツなどについて.....	33
第13章 男女共同参画について.....	38
第14章 行政運営について.....	40
第15章 町村合併について.....	42
第16章 地方自治組織について.....	43
第3編 自由意見.....	エラー! ブックマークが定義されていません。
第4編 調査票.....	47

第1編 調査の概要

第1章 調査の目的

「木曽町まちづくりアンケート調査」は、4町村合併後の第1次木曽町総合計画の策定にあたり、木曽町住民の町に対する現状認識及び今後のまちづくりに対する意見や意識などを集約し、町として取り組むべき課題をどのように考えているかを調査し、「第1次木曽町総合計画」の策定にあたっての基礎資料とするために実施しました。

第2章 調査の方法

調査の対象者、配布・回収方法、有効回答率などは以下の通りです。

対象者	木曽町在住の18歳以上の住民の中から、2,000名を無作為抽出
地域別	対象者の地域別人数 木曽福島地区 800名 日義地区400名 開田地区400名 三岳地区 400名
実施期間	平成18年9月
配布・回収の方法	郵送による配布・回収
有効回答票	1,222票 木曽福島地区：478票（59.8%） 日義地区：260票（65.0%） 開田地区：231票（57.8%） 三岳地区：233票（58.3%）
有効回答率	61.1%

第3章 分析の方法

設問のなかには前問に答えた人のみが答える「限定設問」があり、表中の「回答者数」が全体より少なくなっています。

設問には1つのみ答える単数回答と、「2つまで」、「3つまで」、あるいは、「いくつでも」などの回答を求める複数回答があり、複数回答の設問では、表記の割合の合計が100%を超えます。

割合は選択肢ごとに小数第1位で四捨五入しているため、その割合の合計は100%にならないところがあります。

第2編 アンケート集計結果

第1章 属性

問1 あなたご自身のことについて、それぞれの項目にあてはまる番号を選んで1つをつけてください。

(1) 性別(地区別)

		男性	女性	無回答	合計
木曽福島地区	人数	177	215	86	478
	割合	37.0%	45.0%	18.0%	100.0%
日義地区	人数	87	111	62	260
	割合	33.5%	42.7%	23.8%	100.0%
開田地区	人数	88	105	38	231
	割合	38.1%	45.5%	16.5%	100.0%
三岳地区	人数	94	97	42	233
	割合	40.3%	41.6%	18.0%	100.0%
無回答	人数	3	4	13	20
	割合	15.0%	20.0%	65.0%	100.0%
合計	人数	449	532	241	1,222
	割合	36.7%	43.5%	19.7%	100.0%

(2) 年齢(地区別)

		10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上	無回答	合計
木曽福島地区	人数	11	32	73	51	109	97	104	1	478
	割合	2.3%	6.7%	15.3%	10.7%	22.8%	20.3%	21.8%	0.2%	100.0%
日義地区	人数	4	16	28	39	57	69	46	1	260
	割合	1.5%	6.2%	10.8%	15.0%	21.9%	26.5%	17.7%	0.4%	100.0%
開田地区	人数	3	13	27	33	46	49	59	1	231
	割合	1.3%	5.6%	11.7%	14.3%	19.9%	21.2%	25.5%	0.4%	100.0%
三岳地区	人数		12	19	26	65	47	63	1	233
	割合		5.2%	8.2%	11.2%	27.9%	20.2%	27.0%	0.4%	100.0%
無回答	人数		1	1	2	2	1	1	12	20
	割合		5.0%	5.0%	10.0%	10.0%	5.0%	5.0%	60.0%	100.0%
合計	人数	18	74	148	151	279	263	273	16	1,222
	割合	1.5%	6.1%	12.1%	12.4%	22.8%	21.5%	22.3%	1.3%	100.0%

回答者の性別は、女性が43.5%、男性が36.7%で、無回答が19.7%となっています。地区別にみると、各地区とも女性の比率が高くなっています。年齢は、50歳代が22.8%と最も多く、次いで70歳代が22.3%、60歳代が21.5%と続いています。

地区別にみると、各地区とも、50歳以上が多くなっており、50歳未満の比率は32.1%となっています。

(3) 職業等 (地区別)

		農業・林業・畜産業	自営業	会社員・公務員	パート・アルバイト	家事従事者	学生	無職	その他	無回答	合計
木曾福島地区	人数	28	49	152	44	59	12	106	24	4	478
	割合	5.9%	10.3%	31.8%	9.2%	12.3%	2.5%	22.2%	5.0%	0.8%	100.0%
日義地区	人数	25	26	87	36	17	6	48	9	6	260
	割合	9.6%	10.0%	33.5%	13.8%	6.5%	2.3%	18.5%	3.5%	2.3%	100.0%
開田地区	人数	47	30	50	30	18	6	37	12	1	231
	割合	20.3%	13.0%	21.6%	13.0%	7.8%	2.6%	16.0%	5.2%	0.4%	100.0%
三岳地区	人数	26	30	64	26	20	3	46	9	9	233
	割合	11.2%	12.9%	27.5%	11.2%	8.6%	1.3%	19.7%	3.9%	3.9%	100.0%
無回答	人数	2	1	2				3		12	20
	割合	10.0%	5.0%	10.0%				15.0%		60.0%	100.0%
合計	人数	128	136	355	136	114	27	240	54	32	1,222
	割合	10.5%	11.1%	29.1%	11.1%	9.3%	2.2%	19.6%	4.4%	2.6%	100.0%

(4) 就学先・勤務先 (地区別)

		町内	郡内他町村	松本・塩尻地域	伊那地域	その他県内	その他県外	就学・勤務していない	無回答	合計
木曾福島地区	人数	224	36	15		5	11	111	76	478
	割合	46.9%	7.5%	3.1%		1.0%	2.3%	23.2%	15.9%	100.0%
日義地区	人数	133	21	15	1	2	4	43	41	260
	割合	51.2%	8.1%	5.8%	0.4%	0.8%	1.5%	16.5%	15.8%	100.0%
開田地区	人数	123	8	1			5	42	52	231
	割合	53.2%	3.5%	0.4%			2.2%	18.2%	22.5%	100.0%
三岳地区	人数	104	28	2		2	4	35	58	233
	割合	44.6%	12.0%	0.9%		0.9%	1.7%	15.0%	24.9%	100.0%
無回答	人数	1	1			1	1	1	15	20
	割合	5.0%	5.0%			5.0%	5.0%	5.0%	75.0%	100.0%
合計	人数	585	94	33	1	10	25	232	242	1,222
	割合	47.9%	7.7%	2.7%	0.1%	0.8%	2.0%	19.0%	19.8%	100.0%

職業等については、「会社員・公務員」が29.1%、「無職」19.6%、「自営業」と「パート・アルバイト」がともに11.1%などとなっています。地区別では、各地区とも「会社員・公務員」が最も多く、次いで開田地区では「農業・林業・畜産業」、他の3地区では「無職」となっています。

就学先・勤務先では、「町内」が47.9%、「就学・勤務していない」が19.0%、「郡内他町村」が7.7%などとなっています。地区別でも、「町内」が圧倒的に多く、「就学・勤務していない」を除くと、次いで「郡内他町村」となっています。

(5) 出身地 (地区別)

		木曾町に生まれてからずっと住んでいる	木曾町出身だが、町外での居住経験がある	県内の他の市町村出身である	県外の出身である	無回答	合計
木曾福島地区	人数	156	156	114	50	2	478
	割合	32.6%	32.6%	23.8%	10.5%	0.4%	100.0%
日義地区	人数	96	84	47	28	5	260
	割合	36.9%	32.3%	18.1%	10.8%	1.9%	100.0%
開田地区	人数	107	64	19	39	2	231
	割合	46.3%	27.7%	8.2%	16.9%	0.9%	100.0%
三岳地区	人数	124	55	31	18	5	233
	割合	53.2%	23.6%	13.3%	7.7%	2.1%	100.0%
無回答	人数	1	3	2	1	13	20
	割合	5.0%	15.0%	10.0%	5.0%	65.0%	100.0%
合計	人数	484	362	213	136	27	1,222
	割合	39.6%	29.6%	17.4%	11.1%	2.2%	100.0%

(7) 居住年数 (地区別)

		5年未満	5年以上10年未満	10年以上20年未満	20年以上	無回答	合計
木曾福島地区	人数	50	30	50	342	6	478
	割合	10.5%	6.3%	10.5%	71.5%	1.3%	100.0%
日義地区	人数	18	23	57	158	4	260
	割合	6.9%	8.8%	21.9%	60.8%	1.5%	100.0%
開田地区	人数	21	21	31	151	7	231
	割合	9.1%	9.1%	13.4%	65.4%	3.0%	100.0%
三岳地区	人数	10	13	20	182	8	233
	割合	4.3%	5.6%	8.6%	78.1%	3.4%	100.0%
無回答	人数			3	2	15	20
	割合			15.0%	10.0%	75.0%	100.0%
合計	人数	99	87	161	835	40	1,222
	割合	8.1%	7.1%	13.2%	68.3%	3.3%	100.0%

出身地は、「木曾町に生まれてからずっと住んでいる」が最も多く39.6%、次いで「木曾町出身だが、町外での居住経験がある」が29.6%などとなっています。地区別にみると「木曾町に生まれてからずっと住んでいる」住民の比率は、三岳地区が53.2%と最も高く、開田地区が46.3%、日義地区が36.9%、木曾福島地区が32.6%と続いています。

居住地区は、サンプルの抽出数に比例しており、木曾福島が39.1%、日義地区が21.3%、開田地区が18.9%、三岳地区が19.1%となっています。

居住年数は、「20年以上」が68.3%と最も高く、次いで「10年以上」が13.2%などとなっています。地区別でも「20年以上」、「10年以上」の順位はわかりません。

(8) 子どもの有無(地区別)

		子どもがいる	子どもはいない	無回答	合計
木曽福島地区	人数	373	104	1	478
	割合	78.0%	21.8%	0.2%	100.0%
日義地区	人数	207	50	3	260
	割合	79.6%	19.2%	1.2%	100.0%
開田地区	人数	197	31	3	231
	割合	85.3%	13.4%	1.3%	100.0%
三岳地区	人数	191	39	3	233
	割合	82.0%	16.7%	1.3%	100.0%
無回答	人数	5	2	13	20
	割合	25.0%	10.0%	65.0%	100.0%
合計	人数	973	226	23	1,222
	割合	79.6%	18.5%	1.9%	100.0%

子どもの有無については、回答者の79.6%が「子どもがいる」と回答しています。地区別では、開田地区が85.3%、三岳地区が82.0%、日義地区が79.6%、木曽福島地区が78.0%の順になっています。

問1-2 問1-1の(8)で「1 子どもがいる」とお答えになった方のみ、下記へ人数を記入してください。

全体合計

	人数	割合
1人	147	15.1%
2人	376	38.6%
3人	273	28.1%
4人	51	8.2%
5人	8	0.8%
6人	2	0.2%
7人	1	0.1%
合計	858	88.1%
無回答	115	11.8%
合計	973	0.1%

高校生まで

	人数	割合
1人	110	11.3%
2人	113	11.6%
3人	38	3.9%
4人	7	0.7%
5人	1	0.1%
6人	-	-
7人	1	0.1%
合計	270	27.7%
無回答	703	72.3%
合計	973	100.0%

大学生・成人

	人数	割合
1人	117	12.0%
2人	296	30.4%
3人	208	21.4%
4人	32	3.3%
5人	6	0.6%
6人	-	-
7人	-	-
合計	659	67.7%
無回答	314	32.3%
合計	973	100.0%

子どもの数は「2人」が最も高く38.6%、次いで「3人」が28.1%、「1人」が15.1%などとなっています。

高校生までの子どもを持っている方の子どもの人数は、「2人」が11.6%、「1人」が11.3%で、大学生・成人の子どもを持つ方の子どもの人数は、「2人」が30.4%、「3人」が21.4%となっています。

同居している
子どもの数

	人数	割合
1人	280	28.8%
2人	127	13.1%
3人	60	6.2%
4人	33	3.4%
5人	23	2.4%
6人	14	1.4%
7人	9	0.9%
8人	3	0.3%
9人	1	0.1%
合計	550	56.5%
無回答	423	43.5%
合計	973	100.0%

県内に居住している
子どもの数

	人数	割合
1人	265	27.2%
2人	135	13.9%
3人	29	3.0%
4人	4	0.4%
5人	1	0.1%
6人	1	0.1%
合計	435	44.7%
無回答	538	55.3%
合計	973	100.0%

県外に居住している
子どもの数

	人数	割合
1人	243	25.0%
2人	142	14.6%
3人	32	3.3%
4人	4	0.4%
5人	1	0.1%
6人	1	0.1%
合計	423	43.5%
無回答	550	56.5%
合計	973	100.0%

同居している子どもの人数は、「1人」が28.8%、「2人」が13.1%、「3人」が6.2%などとなっています。

県内に居住している子どもの人数は、「1人」が27.2%、「2人」が13.9%、「3人」が3.0%などとなっています。

県外に居住している子どもの人数は、「1人」が25.0%、「2人」が14.6%、「3人」が3.3%などとなっています。

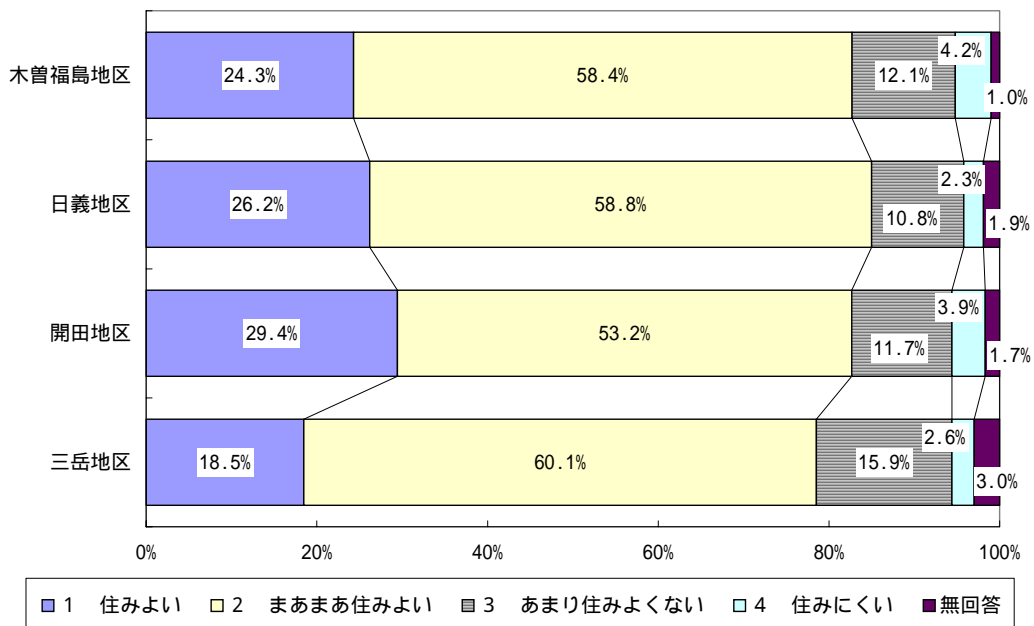


第2章 町の暮らしやすさについて

問2 あなたは、木曽町は住みよいと感じていますか。(1つに)

		1 住みよい	2 まあまあ住みよい	3 あまり住みよくない	4 住みにくい	無回答	合計
木曽福島地区	人数	116	279	58	20	5	478
	割合	24.3%	58.4%	12.1%	4.2%	1.0%	100.0%
日義地区	人数	68	153	28	6	5	260
	割合	26.2%	58.8%	10.8%	2.3%	1.9%	100.0%
開田地区	人数	68	123	27	9	4	231
	割合	29.4%	53.2%	11.7%	3.9%	1.7%	100.0%
三岳地区	人数	43	140	37	6	7	233
	割合	18.5%	60.1%	15.9%	2.6%	3.0%	100.0%
無回答	人数	5	7	3	1	4	20
	割合	25.0%	35.0%	15.0%	5.0%	20.0%	100.0%
合計	人数	300	702	153	42	25	1,222
	割合	24.5%	57.4%	12.5%	3.4%	2.0%	100.0%

住みよいと感じている方の居住地区別の比率

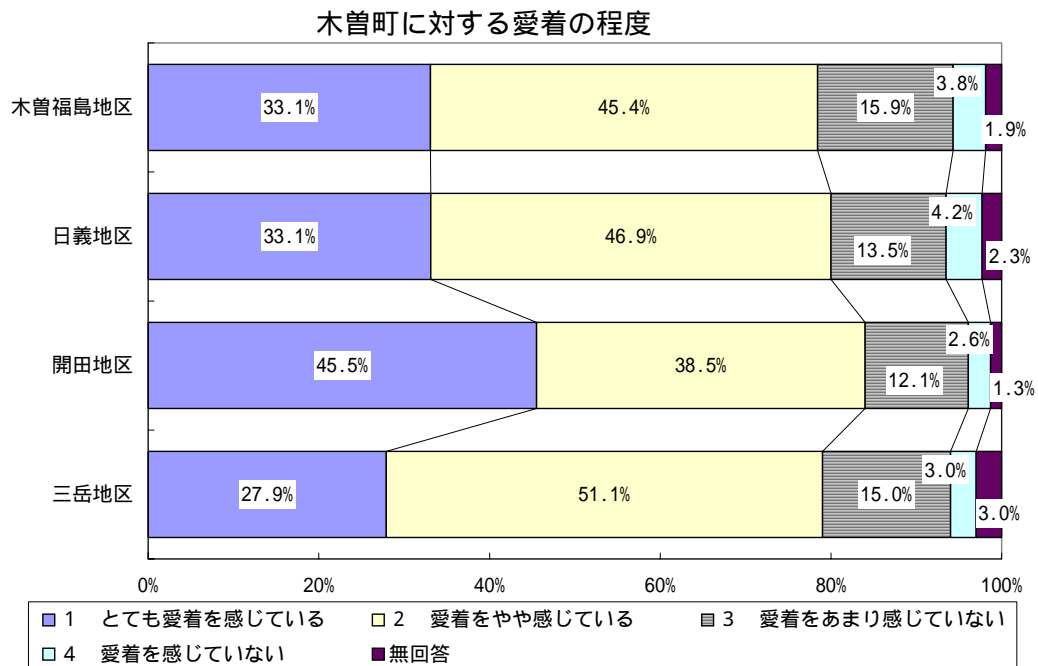


木曽町は住みよいと感じているかとの問に対しては、「住みよい」と「まあまあ住みよい」を合わせると、回答者の8割以上の方が住みよいと感じています。

「住みよい」の率が多いのは開田地区で、「住みよい」と「まあまあ住みよい」を合わせて最も割合が高いのは日義地区で85%になっています。

問3 あなたは、木曽町に「自分のまち」としての愛着をどの程度感じていますか。あなたの住んでいる地域(合併前の旧町村単位)への愛着でも結構です。(1つに)

		1 とても愛着を感じている	2 愛着をやや感じている	3 愛着をあまり感じていない	4 愛着を感じていない	無回答	合計
木曽福島地区	人数	158	217	76	18	9	478
	割合	33.1%	45.4%	15.9%	3.8%	1.9%	100.0%
日義地区	人数	86	122	35	11	6	260
	割合	33.1%	46.9%	13.5%	4.2%	2.3%	100.0%
開田地区	人数	105	89	28	6	3	231
	割合	45.5%	38.5%	12.1%	2.6%	1.3%	100.0%
三岳地区	人数	65	119	35	7	7	233
	割合	27.9%	51.1%	15.0%	3.0%	3.0%	100.0%
無回答	人数	9	3	2	1	5	20
	割合	45.0%	15.0%	10.0%	5.0%	25.0%	100.0%
合計	人数	423	550	176	43	30	1,222
	割合	34.6%	45.0%	14.4%	3.5%	2.5%	100.0%



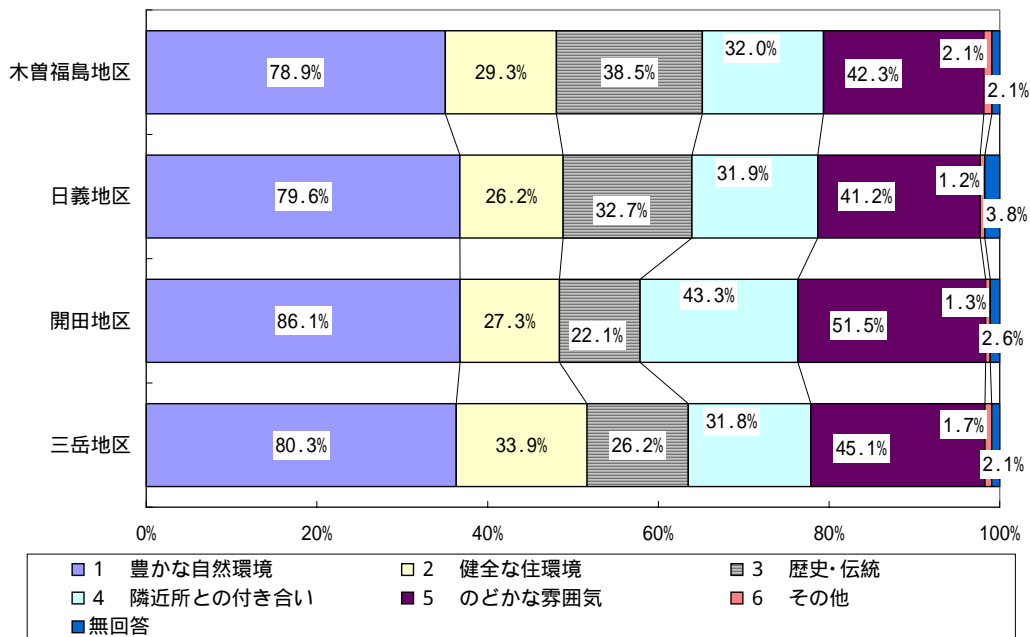
木曽町に「自分のまち」としての愛着をどの程度感じていますかという問いに対しては、「とても愛着を感じている」と「愛着をやや感じている」を合わせると、約8割の方が住みよいと感じています。

「とても愛着を感じている」の率が多いのは開田地区で45.5%、「とても愛着を感じている」と「愛着をやや感じている」を合わせても、開田地区が最も比率が高く84%となっています。

問4 あなたにとって、最も残しておきたい木曽町の良さは何ですか。(3つまで)

		1 豊かな自然環境	2 健全な住環境	3 歴史・伝統	4 隣近所との付き合い	5 のどかな雰囲気	6 その他	無回答	合計
木曽福島地区	人数	377	140	184	153	202	10	10	478
	割合	78.9%	29.3%	38.5%	32.0%	42.3%	2.1%	2.1%	100.0%
日義地区	人数	207	68	85	83	107	3	10	260
	割合	79.6%	26.2%	32.7%	31.9%	41.2%	1.2%	3.8%	100.0%
開田地区	人数	199	63	51	100	119	3	6	231
	割合	86.1%	27.3%	22.1%	43.3%	51.5%	1.3%	2.6%	100.0%
三岳地区	人数	187	79	61	74	105	4	5	233
	割合	80.3%	33.9%	26.2%	31.8%	45.1%	1.7%	2.1%	100.0%
無回答	人数	13	1	6	6	7		5	20
	割合	65.0%	5.0%	30.0%	30.0%	35.0%		25.0%	100.0%
合計	人数	983	351	387	416	540	20	36	1,222
	割合	80.4%	28.7%	31.7%	34.0%	44.2%	1.6%	2.9%	100.0%

最も残しておきたい木曽町の良さ

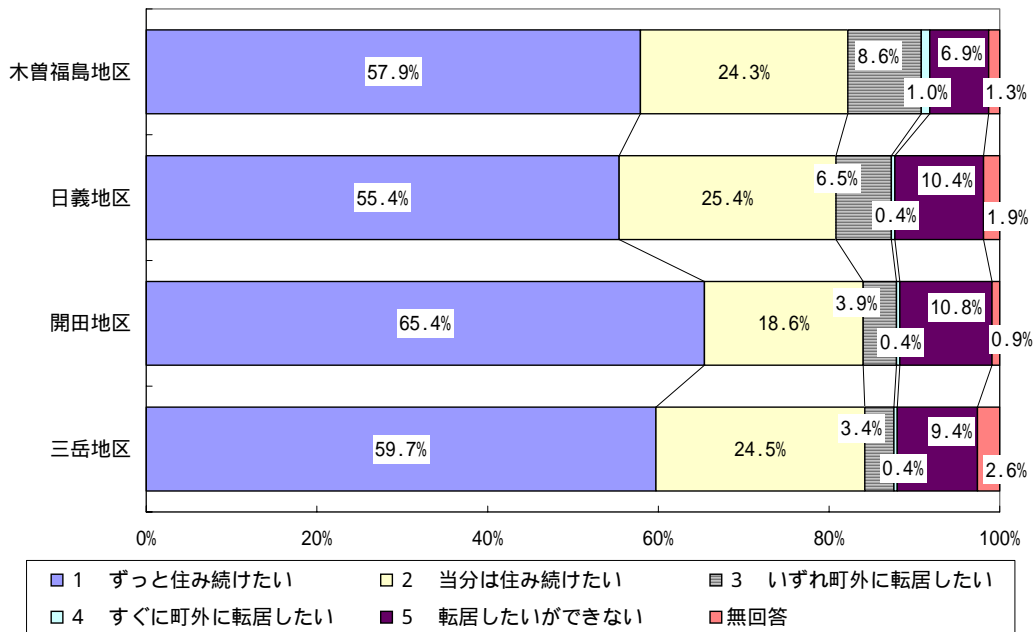


最も残しておきたい木曽町の良さは、「豊かな自然環境」が80.4%と最も高く、次いで「のどかな雰囲気」44.2%、「近所の付き合い」34.0%などとなっています。地区別にみても、各地区とも最も多いのは「豊かな自然環境」、次いで「のどかな雰囲気」、第3位は木曽福島地区と日義地区に就いては「歴史・伝統」、開田地区では「近所との付き合い」、三岳地区では「健全な住環境」となっています。

問5 あなたは、今後も木曽町に住み続けたいですか。(1つに)

		1 ずっと 住み続けた い	2 当分は 住み続けた い	3 いずれ 町外に転居 したい	4 すぐに 町外に転居 したい	5 転居し たいがで きない	無回答	合計
木曽福島地区	人数	277	116	41	5	33	6	478
	割合	57.9%	24.3%	8.6%	1.0%	6.9%	1.3%	100.0%
日義地区	人数	144	66	17	1	27	5	260
	割合	55.4%	25.4%	6.5%	0.4%	10.4%	1.9%	100.0%
開田地区	人数	151	43	9	1	25	2	231
	割合	65.4%	18.6%	3.9%	0.4%	10.8%	0.9%	100.0%
三岳地区	人数	139	57	8	1	22	6	233
	割合	59.7%	24.5%	3.4%	0.4%	9.4%	2.6%	100.0%
無回答	人数	13	2	1		1	3	20
	割合	65.0%	10.0%	5.0%		5.0%	15.0%	100.0%
合計	人数	724	284	76	8	108	22	1,222
	割合	59.2%	23.2%	6.2%	0.7%	8.8%	1.8%	100.0%

今後も木曽町に住み続けたいか



今後も木曽町に住み続けたいかとの設問に対しては、59.2%の方が「ずっと住み続けたい」と回答しており、「当分は住み続けたい」が23.2%で続いています。地区別でみると、開田地区が「ずっと住み続けたい」と回答した率が最も高く65.4%、続いて三岳地区の59.7%、木曽福島地区の57.9%、日義地区の55.4%となっています。

第3章 各分野の満足度について

問6 木曽町の生活環境や施策の現状について、満足度、重要度を分野ごとにおたずねします。

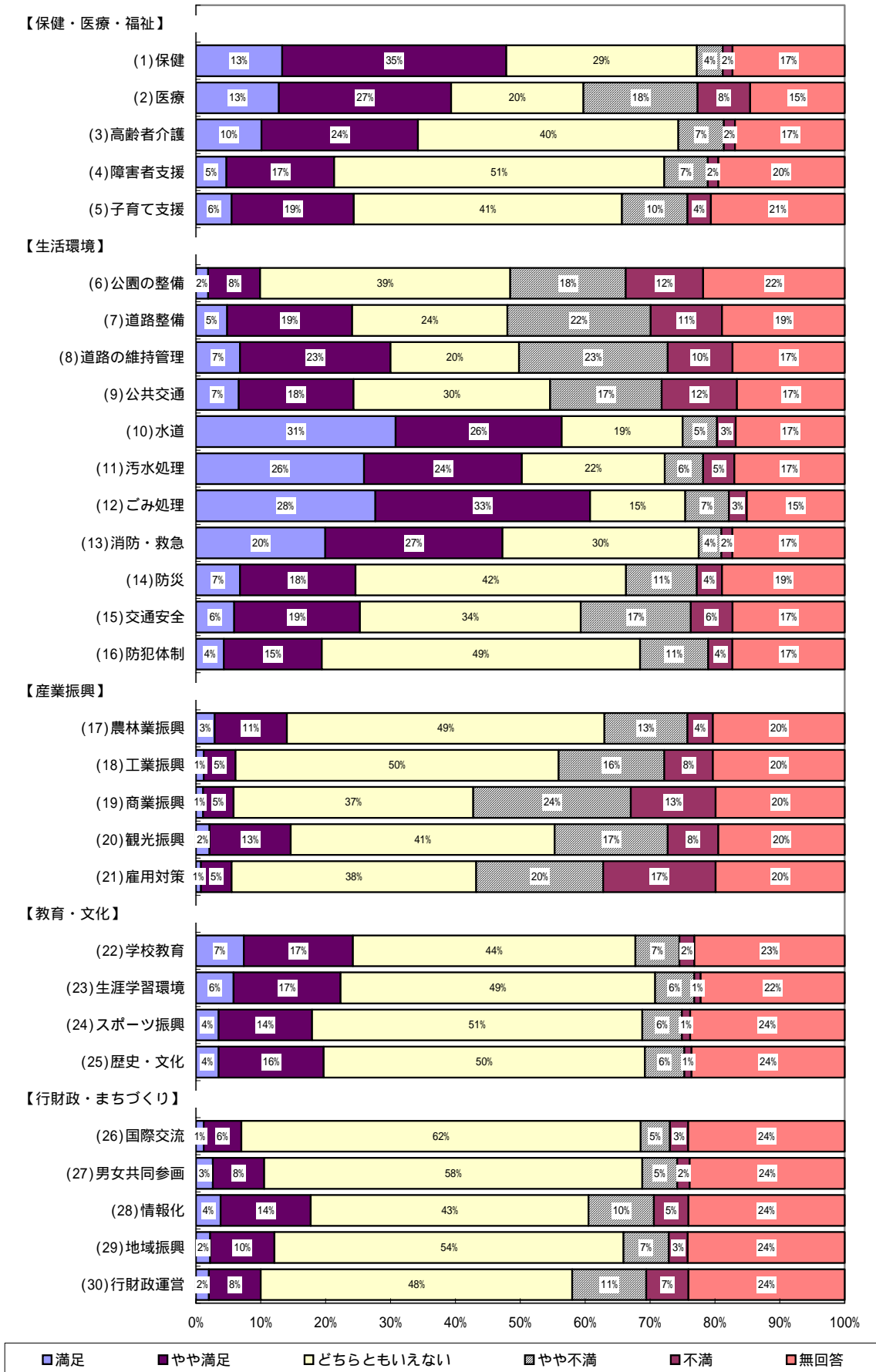
満足度

	満足		やや満足		どちらとも いえない		やや不満		不満		無回答		合計	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
(1)保健	162	13.3%	423	34.6%	359	29.4%	49	4.0%	18	1.5%	211	17.3%	1,222	100.0%
(2)医療	156	12.8%	325	26.6%	249	20.4%	215	17.6%	99	8.1%	178	14.6%	1,222	100.0%
(3)高齢者介護	123	10.1%	295	24.1%	490	40.1%	86	7.0%	21	1.7%	207	16.9%	1,222	100.0%
(4)障害者支援	57	4.7%	203	16.6%	622	50.9%	82	6.7%	20	1.6%	238	19.5%	1,222	100.0%
(5)子育て支援	67	5.5%	230	18.8%	505	41.3%	124	10.1%	44	3.6%	252	20.6%	1,222	100.0%
(6)公園の整備	23	1.9%	98	8.0%	470	38.5%	218	17.8%	146	11.9%	267	21.8%	1,222	100.0%
(7)道路整備	59	4.8%	236	19.3%	292	23.9%	270	22.1%	134	11.0%	231	18.9%	1,222	100.0%
(8)道路の維持管理	83	6.8%	284	23.2%	242	19.8%	280	22.9%	122	10.0%	211	17.3%	1,222	100.0%
(9)公共交通	81	6.6%	216	17.7%	370	30.3%	210	17.2%	142	11.6%	203	16.6%	1,222	100.0%
(10)水道	376	30.8%	313	25.6%	227	18.6%	65	5.3%	36	2.9%	205	16.8%	1,222	100.0%
(11)汚水処理	317	25.9%	297	24.3%	269	22.0%	72	5.9%	59	4.8%	208	17.0%	1,222	100.0%
(12)ごみ処理	338	27.7%	404	33.1%	180	14.7%	82	6.7%	34	2.8%	184	15.1%	1,222	100.0%
(13)消防・救急	243	19.9%	334	27.3%	369	30.2%	43	3.5%	21	1.7%	212	17.3%	1,222	100.0%
(14)防災	83	6.8%	218	17.8%	509	41.7%	133	10.9%	48	3.9%	231	18.9%	1,222	100.0%
(15)交通安全	72	5.9%	237	19.4%	415	34.0%	208	17.0%	78	6.4%	212	17.3%	1,222	100.0%
(16)防犯体制	53	4.3%	185	15.1%	599	49.0%	128	10.5%	45	3.7%	212	17.3%	1,222	100.0%
(17)農林業振興	35	2.9%	136	11.1%	598	48.9%	157	12.8%	48	3.9%	248	20.3%	1,222	100.0%
(18)工業振興	15	1.2%	60	4.9%	608	49.8%	199	16.3%	92	7.5%	248	20.3%	1,222	100.0%
(19)商業振興	13	1.1%	57	4.7%	452	37.0%	297	24.3%	160	13.1%	243	19.9%	1,222	100.0%
(20)観光振興	26	2.1%	153	12.5%	497	40.7%	213	17.4%	95	7.8%	238	19.5%	1,222	100.0%
(21)雇用対策	10	0.8%	57	4.7%	461	37.7%	239	19.6%	212	17.3%	243	19.9%	1,222	100.0%
(22)学校教育	90	7.4%	205	16.8%	533	43.6%	83	6.8%	28	2.3%	283	23.2%	1,222	100.0%
(23)生涯学習環境	71	5.8%	202	16.5%	593	48.5%	73	6.0%	12	1.0%	271	22.2%	1,222	100.0%
(24)スポーツ振興	43	3.5%	176	14.4%	622	50.9%	74	6.1%	16	1.3%	291	23.8%	1,222	100.0%
(25)歴史・文化	43	3.5%	198	16.2%	605	49.5%	74	6.1%	13	1.1%	289	23.6%	1,222	100.0%
(26)国際交流	15	1.2%	71	5.8%	752	61.5%	55	4.5%	34	2.8%	295	24.1%	1,222	100.0%
(27)男女共同参画	32	2.6%	97	7.9%	712	58.3%	66	5.4%	23	1.9%	292	23.9%	1,222	100.0%
(28)情報化	47	3.8%	170	13.9%	523	42.8%	123	10.1%	65	5.3%	294	24.1%	1,222	100.0%
(29)地域振興	27	2.2%	121	9.9%	658	53.8%	85	7.0%	35	2.9%	296	24.2%	1,222	100.0%
(30)行財政運営	24	2.0%	98	8.0%	587	48.0%	139	11.4%	79	6.5%	295	24.1%	1,222	100.0%

30の施策項目ごとの満足度をみると、「満足」と「やや満足」の合計では、「ごみ収集・処理」の60.8%が最も高く、次いで「水道」が56.4%で続いています。

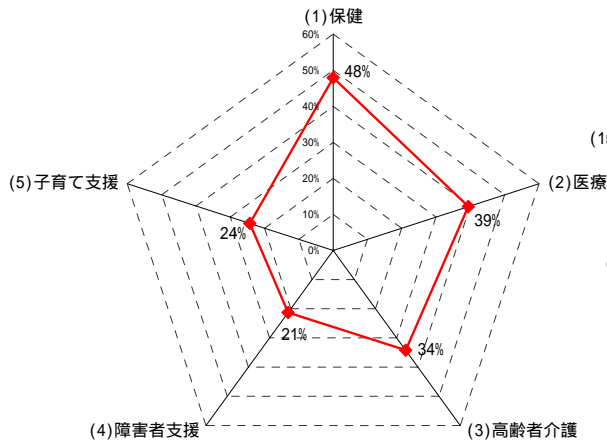
一方、「やや不満」と「不満」の合計では、「商業振興」が37.4%、続いて「雇用対策」が36.9%の順に続いています。

施策項目ごとの満足度

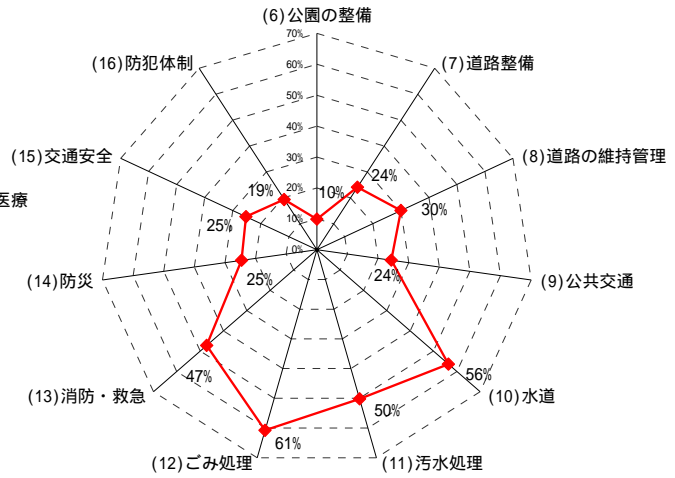


「満足」と「やや満足」の合計分のみの再掲

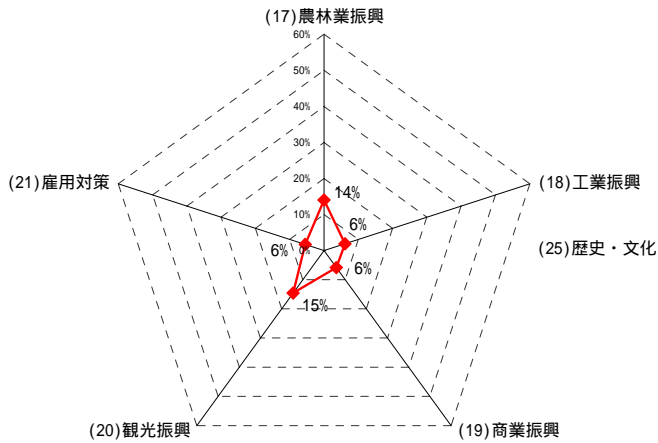
【保健・医療・福祉分野】



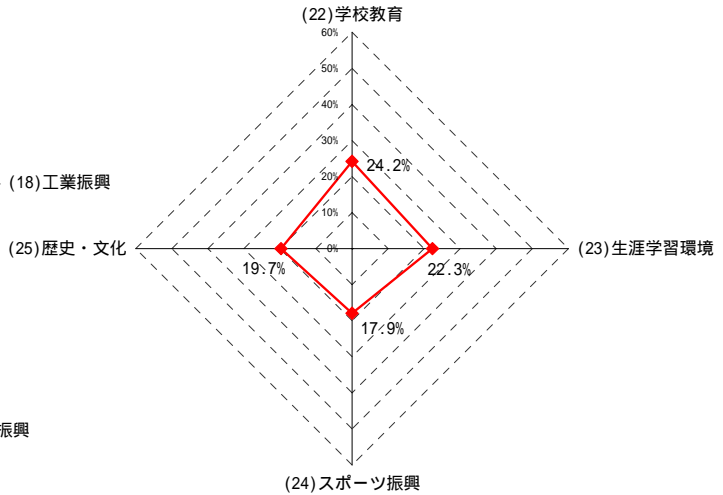
【生活環境分野】



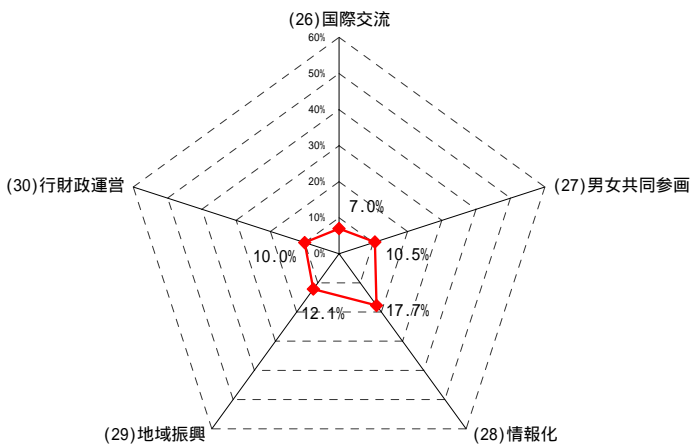
【産業振興分野】



【教育・文化分野】



【行財政・まちづくり分野】



「満足」と「やや満足」の合計を分野ごとにみると、生活環境分野では、「公園の整備」の割合が低いものの、他の分野に比べ、割合の高い項目が多くなっています。

また、産業振興分野では、「観光振興」と「農林業振興」で比較的高くなっていますが、他は6%と非常に低くなっており、本町の大きな課題といえます。

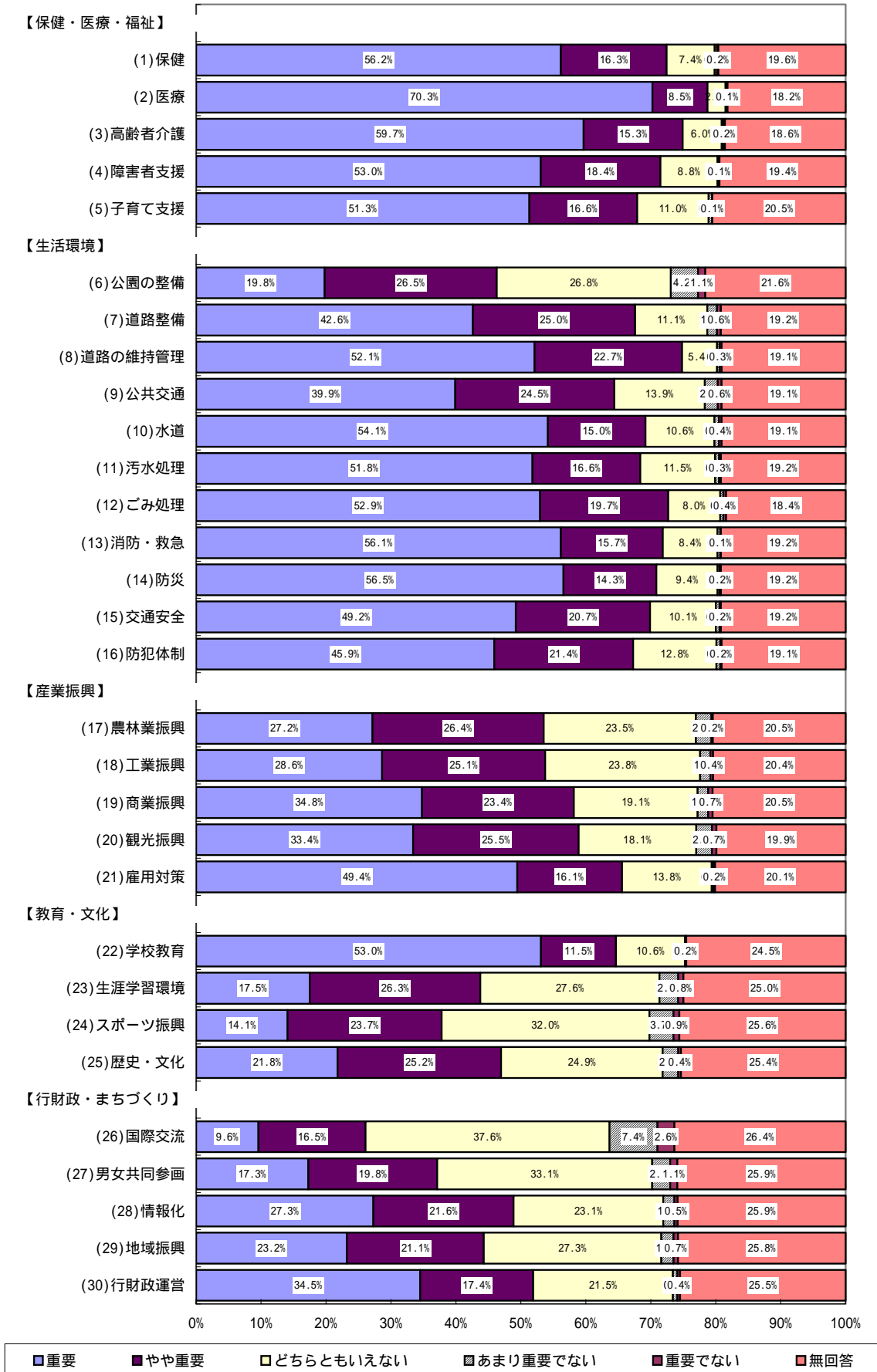
重要度

	重要		やや重要		どちらとも いえない		あまり重要 でない		重要でない		無回答		合計	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
(1)保健	687	56.2%	199	16.3%	90	7.4%	5	0.4%	2	0.2%	239	19.6%	1,222	100.0%
(2)医療	859	70.3%	104	8.5%	34	2.8%	2	0.2%	1	0.1%	222	18.2%	1,222	100.0%
(3)高齢者介護	729	59.7%	187	15.3%	73	6.0%	4	0.3%	2	0.2%	227	18.6%	1,222	100.0%
(4)障害者支援	648	53.0%	225	18.4%	108	8.8%	3	0.2%	1	0.1%	237	19.4%	1,222	100.0%
(5)子育て支援	627	51.3%	203	16.6%	135	11.0%	6	0.5%	1	0.1%	250	20.5%	1,222	100.0%
(6)公園の整備	242	19.8%	324	26.5%	328	26.8%	51	4.2%	13	1.1%	264	21.6%	1,222	100.0%
(7)道路整備	521	42.6%	305	25.0%	136	11.1%	18	1.5%	7	0.6%	235	19.2%	1,222	100.0%
(8)道路の維持管理	637	52.1%	277	22.7%	66	5.4%	5	0.4%	4	0.3%	233	19.1%	1,222	100.0%
(9)公共交通	487	39.9%	300	24.5%	170	13.9%	25	2.0%	7	0.6%	233	19.1%	1,222	100.0%
(10)水道	661	54.1%	183	15.0%	130	10.6%	9	0.7%	5	0.4%	234	19.1%	1,222	100.0%
(11)汚水処理	633	51.8%	203	16.6%	140	11.5%	7	0.6%	4	0.3%	235	19.2%	1,222	100.0%
(12)ごみ処理	647	52.9%	241	19.7%	98	8.0%	6	0.5%	5	0.4%	225	18.4%	1,222	100.0%
(13)消防・救急	686	56.1%	192	15.7%	103	8.4%	5	0.4%	1	0.1%	235	19.2%	1,222	100.0%
(14)防災	690	56.5%	175	14.3%	115	9.4%	4	0.3%	3	0.2%	235	19.2%	1,222	100.0%
(15)交通安全	601	49.2%	253	20.7%	124	10.1%	7	0.6%	2	0.2%	235	19.2%	1,222	100.0%
(16)防犯体制	561	45.9%	261	21.4%	157	12.8%	7	0.6%	2	0.2%	234	19.1%	1,222	100.0%
(17)農林業振興	332	27.2%	322	26.4%	287	23.5%	29	2.4%	2	0.2%	250	20.5%	1,222	100.0%
(18)工業振興	350	28.6%	307	25.1%	291	23.8%	20	1.6%	5	0.4%	249	20.4%	1,222	100.0%
(19)商業振興	425	34.8%	286	23.4%	233	19.1%	19	1.6%	9	0.7%	250	20.5%	1,222	100.0%
(20)観光振興	408	33.4%	312	25.5%	221	18.1%	29	2.4%	9	0.7%	243	19.9%	1,222	100.0%
(21)雇用対策	604	49.4%	197	16.1%	169	13.8%	4	0.3%	2	0.2%	246	20.1%	1,222	100.0%
(22)学校教育	648	53.0%	141	11.5%	130	10.6%	0	0.0%	3	0.2%	300	24.5%	1,222	100.0%
(23)生涯学習環境	214	17.5%	321	26.3%	337	27.6%	35	2.9%	10	0.8%	305	25.0%	1,222	100.0%
(24)スポーツ振興	172	14.1%	290	23.7%	391	32.0%	45	3.7%	11	0.9%	313	25.6%	1,222	100.0%
(25)歴史・文化	266	21.8%	308	25.2%	304	24.9%	29	2.4%	5	0.4%	310	25.4%	1,222	100.0%
(26)国際交流	117	9.6%	202	16.5%	459	37.6%	90	7.4%	32	2.6%	322	26.4%	1,222	100.0%
(27)男女共同参画	211	17.3%	242	19.8%	405	33.1%	34	2.8%	13	1.1%	317	25.9%	1,222	100.0%
(28)情報化	333	27.3%	264	21.6%	282	23.1%	21	1.7%	6	0.5%	316	25.9%	1,222	100.0%
(29)地域振興	283	23.2%	258	21.1%	334	27.3%	23	1.9%	9	0.7%	315	25.8%	1,222	100.0%
(30)行財政運営	421	34.5%	213	17.4%	263	21.5%	9	0.7%	5	0.4%	311	25.5%	1,222	100.0%

重要度については、「重要」と「やや重要」の合計では、「医療（病院・診療所・医院など）」が78.8%と約8割の方が重要であるとの認識を持っており、続いて「高齢者の介護・福祉（デイサービス）」が75.0%、「道路の維持管理（除雪・側溝など）」が74.8%などとなっています。

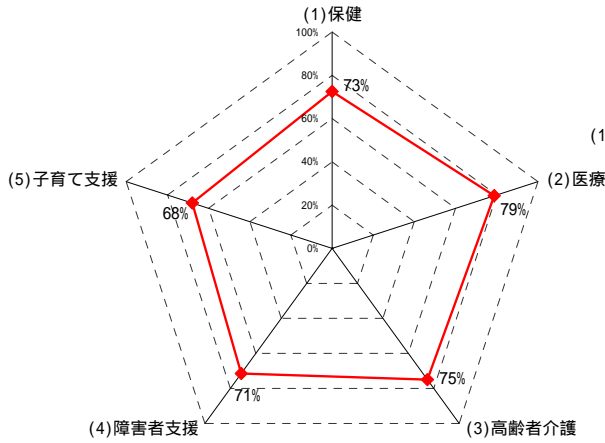
また、重要性を感じていないことについては、「あまり重要でない」と「重要でない」の合計で、「国際交流（海外派遣・姉妹都市提携など）」が10.0%、「公園（児童公園など）」が5.3%、「男女共同参画（会議への女性参加など）」が3.9%の順で続いています。

施策項目ごとの重要度

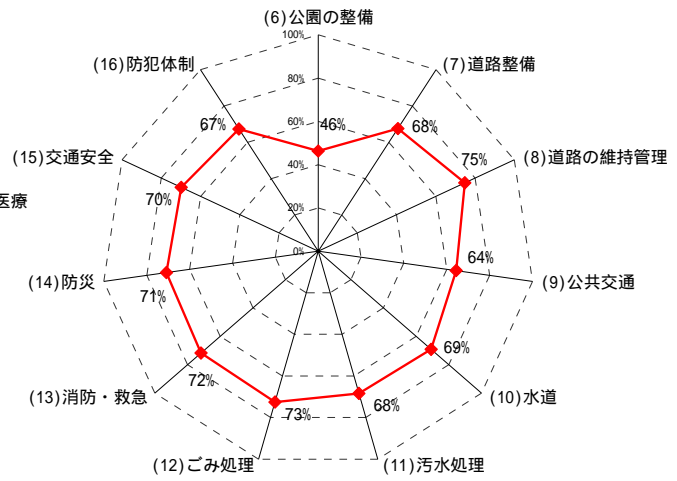


「重要」と「やや重要」の合計分のみの再掲

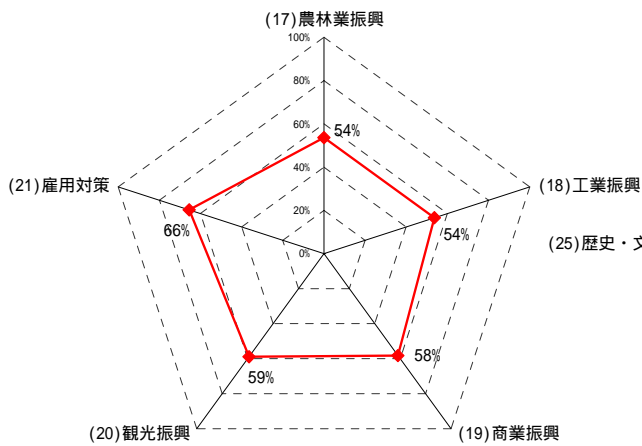
【保健・医療・福祉分野】



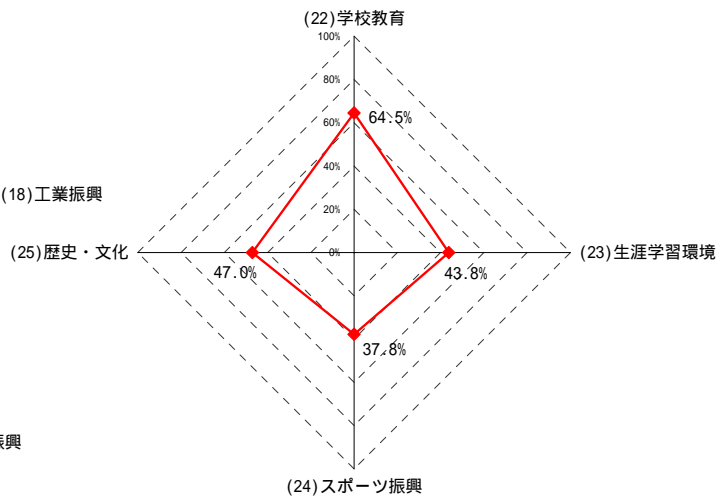
【生活環境分野】



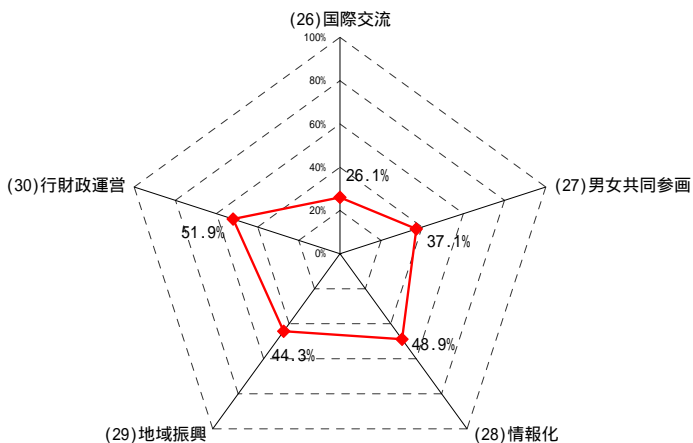
【産業振興分野】



【教育・文化分野】



【行財政・まちづくり分野】



「重要」と「やや重要」の合計を分野ごとにみると、教育・文化分野では、「学校教育」の割合が高いものの、他の項目は5割に達していません。

また、行財政・まちづくり分野では、「行財政運営」が高くなっていますが、「国際交流」や「男女共同参画」などは低くなっています。

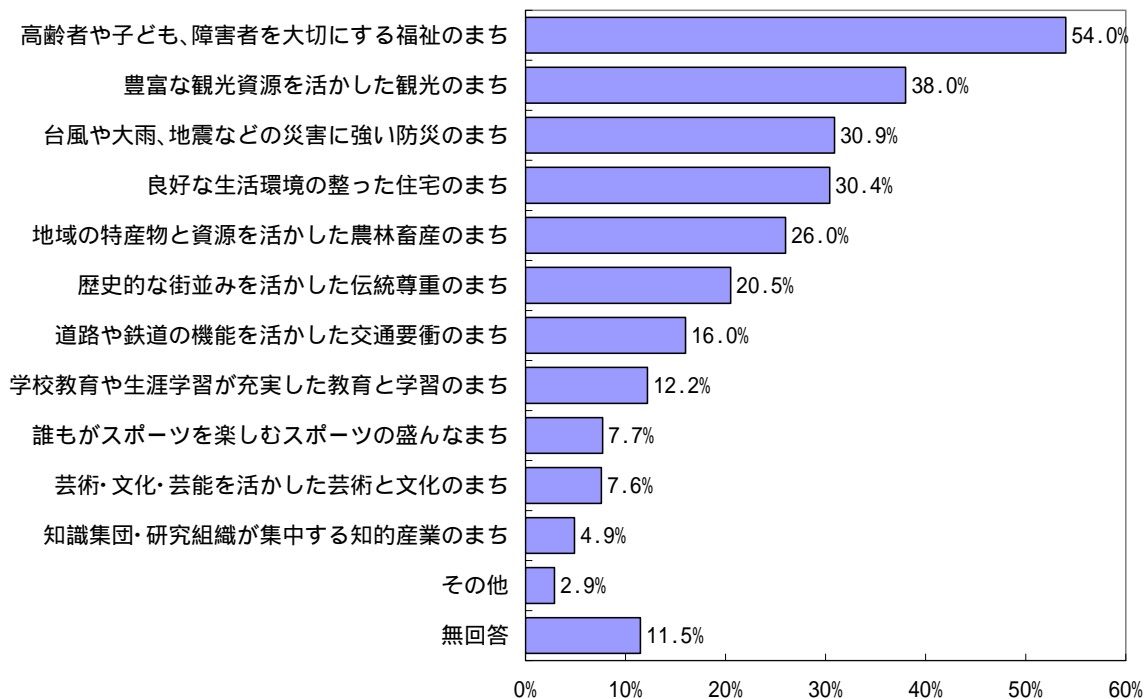
第4章 まちづくりの方向について

問7 あなたは、今後の木曽町はどのような方向のまちづくりを目指すべきだと考えますか。（おもなものを3つまでに）

		1 良好な生活環境の整った住宅のまち	2 高齢者や子ども、障害者を大切にする福祉のまち	3 台風や大雨、地震などの災害に強い防災のまち	4 道路や鉄道の機能を活かした交通要衝のまち	5 豊富な観光資源を活かした観光のまち	6 地域の特産物と資源を活かした農林畜産のまち	7 知識集団・研究組織が集中する知的産業のまち	8 歴史的な街並みを活かした伝統尊重のまち	9 芸術・文化・芸能を活かした芸術と文化のまち	10 学校教育や生涯学習が充実した教育と学習のまち	11 誰もがスポーツを楽しむスポーツの盛んなまち	12 その他	無回答	合計
木曽福島地区	度数	164	271	158	64	180	89	27	132	40	60	33	14	46	478
	行%	34.3%	56.7%	33.1%	13.4%	37.7%	18.6%	5.6%	27.6%	8.4%	12.6%	6.9%	2.9%	9.6%	100.0%
日義地区	度数	87	139	75	49	90	64	12	46	25	29	25	9	29	260
	行%	33.5%	53.5%	28.8%	18.8%	34.6%	24.6%	4.6%	17.7%	9.6%	11.2%	9.6%	3.5%	11.2%	100.0%
開田地区	度数	52	123	69	38	96	90	11	34	17	15	16	7	30	231
	行%	22.5%	53.2%	29.9%	16.5%	41.6%	39.0%	4.8%	14.7%	7.4%	6.5%	6.9%	3.0%	13.0%	100.0%
三岳地区	度数	65	115	71	43	92	67	10	35	11	41	19	5	31	233
	行%	27.9%	49.4%	30.5%	18.5%	39.5%	28.8%	4.3%	15.0%	4.7%	17.6%	8.2%	2.1%	13.3%	100.0%
無回答	度数	3	12	5	1	6	8		4		4	1		4	20
	行%	15.0%	60.0%	25.0%	5.0%	30.0%	40.0%		20.0%		20.0%	5.0%		20.0%	100.0%
合計	度数	371	660	378	195	464	318	60	251	93	149	94	35	140	1,222
	行%	30.4%	54.0%	30.9%	16.0%	38.0%	26.0%	4.9%	20.5%	7.6%	12.2%	7.7%	2.9%	11.5%	100.0%

今後の木曽町が目指すべきまちづくりの方向については、「高齢者や子ども、障害者を大切にする福祉のまち」が54.0%と最も高く、次いで「豊富な観光資源を活かした観光のまち」が38.0%、「台風や大雨、地震などの災害に強い防災のまち」が30.9%などとなっています。各地区別にみてもほぼ同じような結果になっています。

目指すべきまちづくりの方向（多い順）



第5章 保健・福祉について

問8 あなたは現在、「健康」だと思いますか。(はひとつ)

		1 そう思う	2 ややそう思う	3 あまり思わない	4 まったく思わない	無回答	合計
木曽福島地区	人数	176	184	83	25	10	478
	割合	36.8%	38.5%	17.4%	5.2%	2.1%	100.0%
日義地区	人数	101	104	42	10	3	260
	割合	38.8%	40.0%	16.2%	3.8%	1.2%	100.0%
開田地区	人数	95	91	32	10	3	231
	割合	41.1%	39.4%	13.9%	4.3%	1.3%	100.0%
三岳地区	人数	69	87	60	13	4	233
	割合	29.6%	37.3%	25.8%	5.6%	1.7%	100.0%
無回答	人数	8	1	7		4	20
	割合	40.0%	5.0%	35.0%		20.0%	100.0%
合計	人数	449	467	224	58	24	1,222
	割合	36.7%	38.2%	18.3%	4.7%	2.0%	100.0%

現在「健康」だと思ふ方の比率は、「ややそう思う」が38.2%、「そう思う」が36.7%となっており、両者を合わせると74.9%になっています。一方「あまり思わない」は18.3%、「まったく思わない」が2.0%となり、合わせると20.3%となっています。

問9 あなたが健康のため、普段から心がけていることはありますか。(主なもの3つまでに)

		1 定期的に運動している	2 ストレスをためないように気をつけている	3 食事の量やバランスなどに気をつけている	4 規則正しい生活を心がけている	5 酒を飲まない、または飲む量に気をつけている	6 たばこを吸わない、または吸う量に気をつけている	7 趣味活動や地域活動に積極的に参加する意欲を持っている	8 定期的に健康診断や人間ドックによる検診を受けるようにしている	9 その他	無回答	合計
木曽福島地区	度数	118	196	266	198	67	78	70	189	15	13	478
	行%	24.7%	41.0%	55.6%	41.4%	14.0%	16.3%	14.6%	39.5%	3.1%	2.7%	100.0%
日義地区	度数	55	117	133	98	39	47	39	122	5	7	260
	行%	21.2%	45.0%	51.2%	37.7%	15.0%	18.1%	15.0%	46.9%	1.9%	2.7%	100.0%
開田地区	度数	34	112	106	79	33	35	35	104	7	9	231
	行%	14.7%	48.5%	45.9%	34.2%	14.3%	15.2%	15.2%	45.0%	3.0%	3.9%	100.0%
三岳地区	度数	45	94	120	96	45	43	33	85	5	5	233
	行%	19.3%	40.3%	51.5%	41.2%	19.3%	18.5%	14.2%	36.5%	2.1%	2.1%	100.0%
無回答	度数	5	6	10	8	3	1	3	5		3	20
	行%	25.0%	30.0%	50.0%	40.0%	15.0%	5.0%	15.0%	25.0%		15.0%	100.0%
合計	度数	257	525	635	479	187	204	180	505	32	37	1,222
	行%	21.0%	43.0%	52.0%	39.2%	15.3%	16.7%	14.7%	41.3%	2.6%	3.0%	100.0%

健康のために普段から心がけていることとしては、「食事のバランスなどに気をつけている」が52.0%と最も高く、次いで「ストレスをためないように気をつけている」が43.0%、「規則正しい生活を心がけている」が39.2%などとなっています。

各地区別にみると、開田地区を除く3地区では「食事のバランスなどに気をつけている」が最も多くなっていますが、開田地区では「ストレスをためないように気をつけている」と答えた方の比率が最も高くなっています。

問10 あなたはこの1年間に自治会・地域協議会や社会福祉協議会等のボランティア活動に参加しましたか。(1つに)

		1 参加した	2 参加していない	無回答	合計
木曽福島地区	人数	127	341	10	478
	割合	26.6%	71.3%	2.1%	100.0%
日義地区	人数	70	183	7	260
	割合	26.9%	70.4%	2.7%	100.0%
開田地区	人数	71	155	5	231
	割合	30.7%	67.1%	2.2%	100.0%
三岳地区	人数	69	154	10	233
	割合	29.6%	66.1%	4.3%	100.0%
無回答	人数	3	13	4	20
	割合	15.0%	65.0%	20.0%	100.0%
合計	人数	340	846	36	1,222
	割合	27.8%	69.2%	2.9%	100.0%

この1年間に自治会・地域協議会や社会福祉協議会等のボランティア活動への参加の有無については、27.8%の方が「参加した」と回答していますが、約7割の方は「参加していない」と回答しています。

地区別では、開田地区と三岳地区が30%前後で、他の2地区と比べ、わずかながら「参加した」比率が高くなっています。

問11 問10で「1 参加した」を選んだ方にお伺いします。どんな分野の活動団体・グループですか。(あてはまるものすべてに)

		1 健康づくりの活動	2 高齢者への支援	3 障害者への支援	4 子育て支援	5 文化・スポーツなど生涯学習活動	6 地域づくりのための活動(自治会活動を含む)	7 防犯や防災など生活安全の活動	8 リサイクルなど環境活動	9 災害援助活動	10 その他	無回答	合計
木曽福島地区	度数	18	23	11	8	28	75	16	34	4	8	1	127
	行%	14.2%	18.1%	8.7%	6.3%	22.0%	59.1%	12.6%	26.8%	3.1%	6.3%	0.8%	100.0%
日義地区	度数	9	26	4	1	14	35	3	26	3	2	1	70
	行%	12.9%	37.1%	5.7%	1.4%	20.0%	50.0%	4.3%	37.1%	4.3%	2.9%	1.4%	100.0%
開田地区	度数	11	25	7	2	19	35	9	16	4	6	1	71
	行%	15.5%	35.2%	9.9%	2.8%	26.8%	49.3%	12.7%	22.5%	5.6%	8.5%	1.4%	100.0%
三岳地区	度数	10	6	3	10	22	40	10	15	7	6		69
	行%	14.5%	8.7%	4.3%	14.5%	31.9%	58.0%	14.5%	21.7%	10.1%	8.7%		100.0%
無回答	度数		2	2		1	1	1		1			3
	行%		66.7%	66.7%		33.3%	33.3%	33.3%		33.3%			100.0%
合計	度数	48	82	27	21	84	186	39	91	19	22	3	340
	行%	14.1%	24.1%	7.9%	6.2%	24.7%	54.7%	11.5%	26.8%	5.6%	6.5%	0.9%	100.0%

この1年間にボランティア活動へ「参加した」方の活動分野については、54.7%の方が「地域づくりのための活動(自治会活動を含む)」と回答しており、続いて「リサイクルなど環境活動」26.8%、「文化・スポーツなど生涯学習活動」24.7%などとなっています。

地区別にみても各地区とも「地域づくりのための活動(自治会活動を含む)」が最も高くなっています。2番目に高いのは、木曽福島地区と日義地区では「リサイクルなど環境活動」でそれぞれ26.8%、37.1%となっています。開田地区は「高齢者への支援」で35.2%、三岳地区では「文化・スポーツなど生涯学習活動」で31.9%となっています。

問12 あなたは、木曾町は近隣市町村と比べ、自治会・地域協議会や社会福祉協議会等のボランティア活動が活発だと思いますか。(1つに)

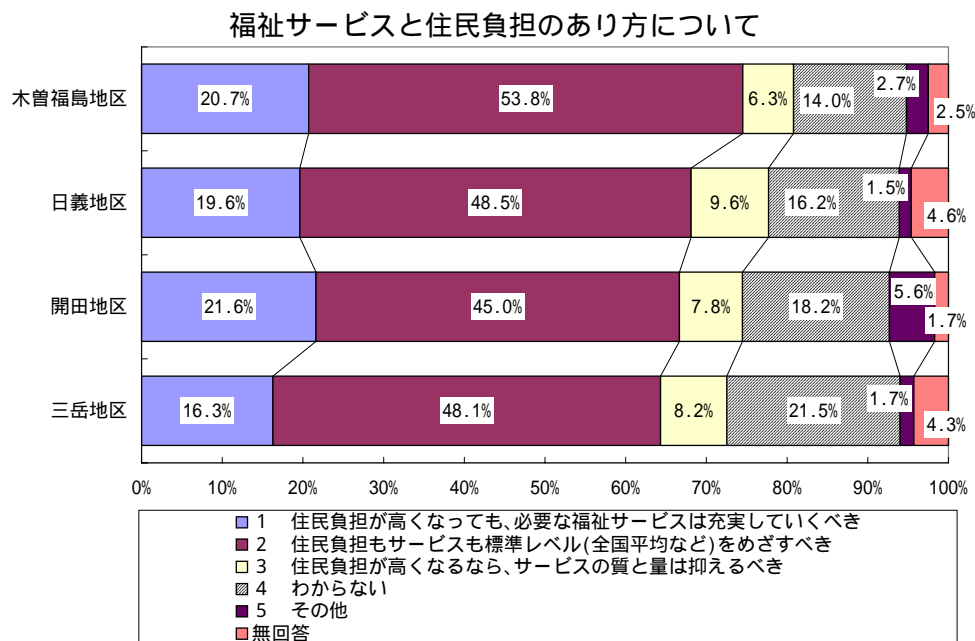
		1 活発である	2 活発でない	3 わからない	無回答	合計
木曾福島地区	人数	56	78	334	10	478
	割合	11.7%	16.3%	69.9%	2.1%	100.0%
日義地区	人数	21	44	189	6	260
	割合	8.1%	16.9%	72.7%	2.3%	100.0%
開田地区	人数	49	23	157	2	231
	割合	21.2%	10.0%	68.0%	0.9%	100.0%
三岳地区	人数	24	43	158	8	233
	割合	10.3%	18.5%	67.8%	3.4%	100.0%
無回答	人数	2	5	9	4	20
	割合	10.0%	25.0%	45.0%	20.0%	100.0%
合計	人数	152	193	847	30	1,222
	割合	12.4%	15.8%	69.3%	2.5%	100.0%

木曾町が近隣市町村と比べ、自治会・地域協議会や社会福祉協議会等のボランティア活動が活発と思うかとの問に対しては、「わからない」が約7割を占めており、「活発でない」が15.8%、「活発である」と答えた方は12.4%に留まっています。地区別では、開田地区の21.2%の方が「活発である」と答えていますが、他の3地区はその比率が10%前後となっています。



問13 介護保険サービスや障害者保健福祉サービス、保育サービスなどは、税や介護保険料などを財源として運営されています。あなたは、こうした福祉サービスと住民負担のあり方について、どのようにお考えですか。（1つに ）

		1 住民負担が高くなって、必要な福祉サービスは充実していくべき	2 住民負担もサービスも標準レベル(全国平均など)をめざすべき	3 住民負担が高くなるなら、サービスの質と量は抑えるべき	4 わからない	5 その他	無回答	合計
木曽福島地区	人数	99	257	30	67	13	12	478
	割合	20.7%	53.8%	6.3%	14.0%	2.7%	2.5%	100.0%
日義地区	人数	51	126	25	42	4	12	260
	割合	19.6%	48.5%	9.6%	16.2%	1.5%	4.6%	100.0%
開田地区	人数	50	104	18	42	13	4	231
	割合	21.6%	45.0%	7.8%	18.2%	5.6%	1.7%	100.0%
三岳地区	人数	38	112	19	50	4	10	233
	割合	16.3%	48.1%	8.2%	21.5%	1.7%	4.3%	100.0%
無回答	人数	7	5		2	1	5	20
	割合	35.0%	25.0%		10.0%	5.0%	25.0%	100.0%
合計	人数	245	604	92	203	35	43	1,222
	割合	20.0%	49.4%	7.5%	16.6%	2.9%	3.5%	100.0%



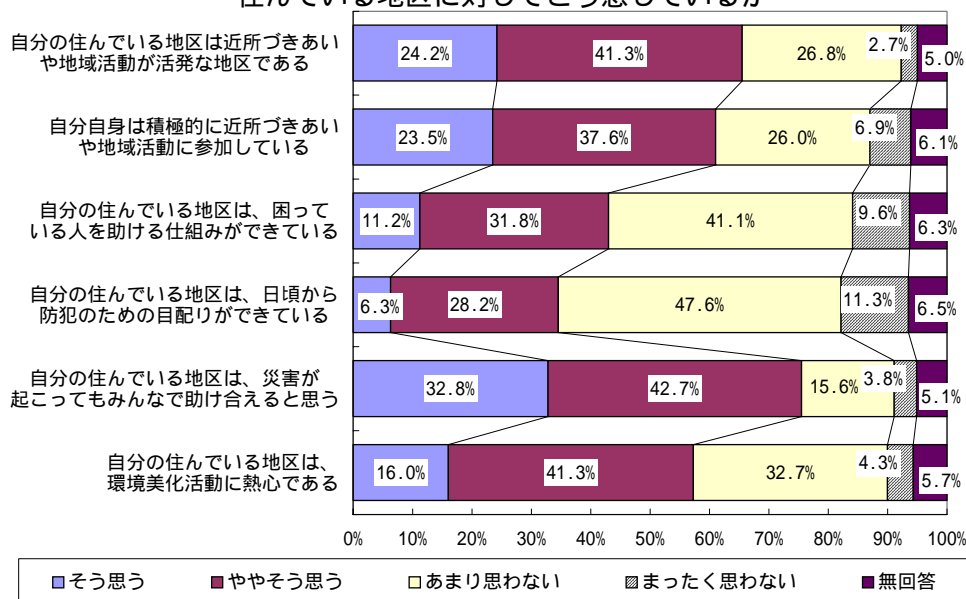
福祉サービスと住民負担のあり方については、「住民サービスも標準レベル(全国平均など)をめざすべき」が49.4%と最も高く、次いで「住民負担が高くなって、必要な福祉サービスは充実していくべき」が20.0%、「わからない」が16.6%などとなっています。地区別にみても、ほぼ同じような傾向を示しています。

第6章 身近な地域について

問14 あなたの住んでいる地区に対して以下のことをどう感じていますか。(それぞれ1つに)

	そう思う		ややそう思う		あまり思わない		まったく思わない		無回答		合計	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
自分の住んでいる地区は近所づきあいや地域活動が活発な地区である	296	24.2%	505	41.3%	327	26.8%	33	2.7%	61	5.0%	1,222	100.0%
自分自身は積極的に近所づきあいや地域活動に参加している	287	23.5%	459	37.6%	318	26.0%	84	6.9%	74	6.1%	1,222	100.0%
自分の住んでいる地区は、困っている人を助ける仕組みができています	137	11.2%	389	31.8%	502	41.1%	117	9.6%	77	6.3%	1,222	100.0%
自分の住んでいる地区は、日頃から防犯のための目配りができています	77	6.3%	345	28.2%	582	47.6%	138	11.3%	80	6.5%	1,222	100.0%
自分の住んでいる地区は、災害が起こってもみんなで助け合えると思う	401	32.8%	522	42.7%	191	15.6%	46	3.8%	62	5.1%	1,222	100.0%
自分の住んでいる地区は、環境美化活動に熱心である	195	16.0%	505	41.3%	399	32.7%	53	4.3%	70	5.7%	1,222	100.0%

住んでいる地区に対してどう感じているか



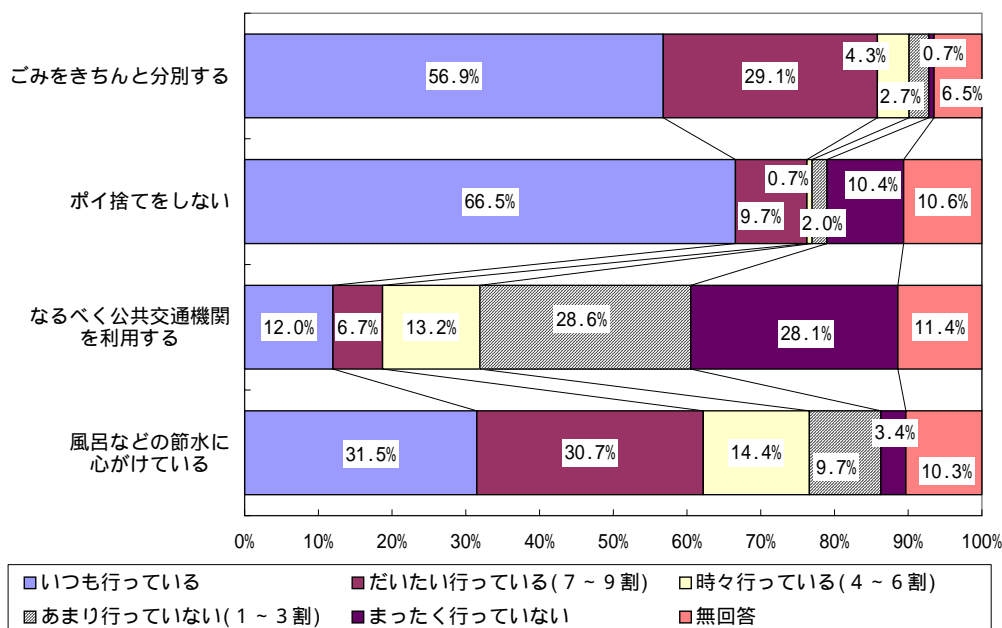
自分の住んでいる地区に対してどう感じているかについては、それぞれの設問に対して「そう思う」と「ややそう思う」の合計比率でみていくと、「自分の住んでいる地区は近所づきあいや地域活動が活発な地区である」が65.5%、「自分自身は積極的に近所づきあいや地域活動に参加している」が61.1%、「自分の住んでいる地区は、困っている人を助ける仕組みができています」が43.0%、「自分の住んでいる地区は、日頃から防犯のための目配りができています」が34.5%、「自分の住んでいる地区は、災害が起こってもみんなで助け合えると思う」が75.5%、「自分の住んでいる地区は、環境美化活動に熱心である」が57.3%となっています。

第7章 環境問題について

問15 あなたは、環境にやさしい生活のために次のことを実践していますか。(それぞれ1つに)

	いつも行っている		だいたい行っている(7~9割)		時々行っている(4~6割)		あまり行っていない(1~3割)		まったく行っていない		無回答		合計	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
ごみをきちんと分別する	695	56.9%	355	29.1%	52	4.3%	33	2.7%	8	0.7%	79	6.5%	1,222	100.0%
ポイ捨てをしない	813	66.5%	119	9.7%	9	0.7%	24	2.0%	127	10.4%	130	10.6%	1,222	100.0%
なるべく公共交通機関を利用する	147	12.0%	82	6.7%	161	13.2%	350	28.6%	343	28.1%	139	11.4%	1,222	100.0%
風呂などの節水に心がけている	385	31.5%	375	30.7%	176	14.4%	118	9.7%	42	3.4%	126	10.3%	1,222	100.0%

環境にやさしい生活のためにどの程度実践しているか



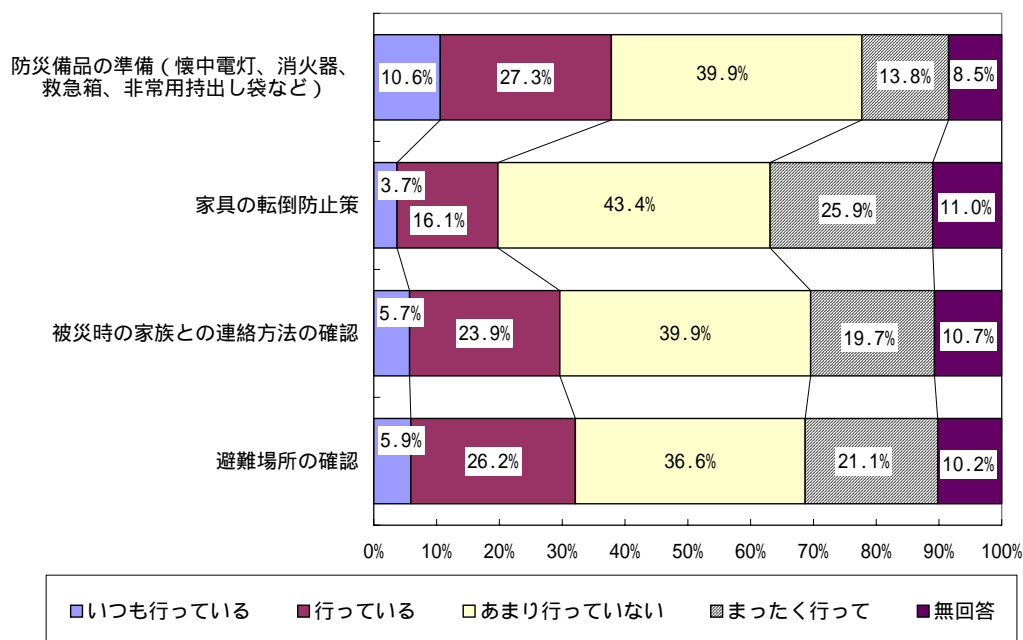
環境にやさしい生活のためにどの程度実践しているかという設問については、「いつも行っている」と「だいたい行っている」を合わせた比率でみていくと、「ごみをきちんと分別する」、「ポイ捨てをしない」、「風呂などの節水に心がけている」でそれぞれ86.0%、76.2%、62.2%と高くなっていますが、「なるべく公共交通機関を利用する」では18.7%と低い割合に留まっています。

第8章 防災について

問16 あなたは、災害への備えのために次のことを実践していますか。(それぞれ1つに)

	いつも行っている		行っている		あまり行っていない		まったく行っていない		無回答		合計	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
防災備品の準備(懐中電灯、消火器、救急箱、非常用持出し袋など)	129	10.6%	333	27.3%	487	39.9%	169	13.8%	104	8.5%	1,222	100.0%
家具の転倒防止策	45	3.7%	197	16.1%	530	43.4%	316	25.9%	134	11.0%	1,222	100.0%
被災時の家族との連絡方法の確認	70	5.7%	292	23.9%	488	39.9%	241	19.7%	131	10.7%	1,222	100.0%
避難場所の確認	72	5.9%	320	26.2%	447	36.6%	258	21.1%	125	10.2%	1,222	100.0%

災害の備えのために実践していること



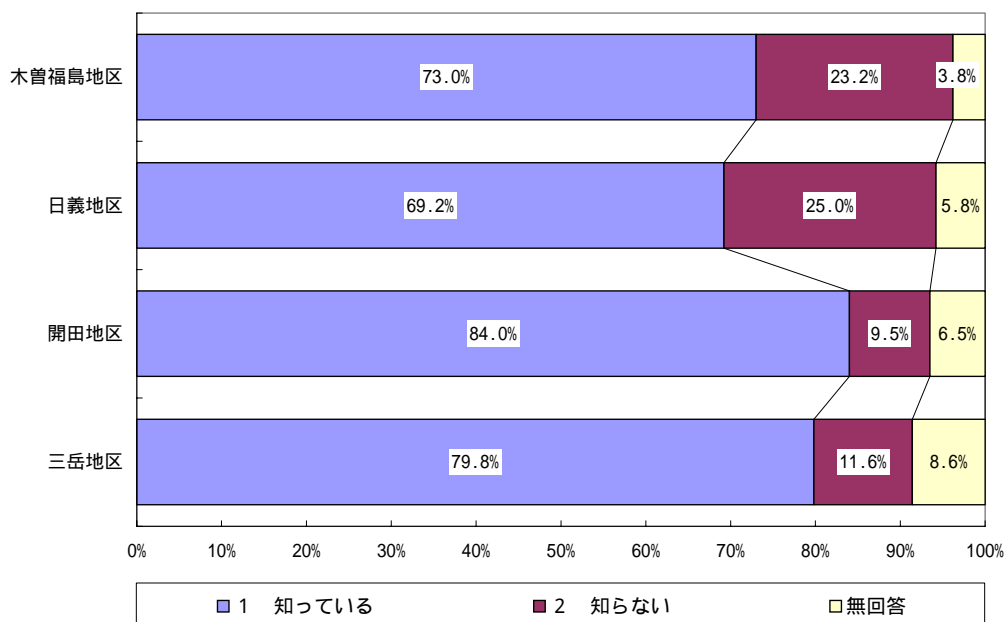
防災の備えについての設問については、「いつも行っている」と「行っている」を合わせた比率でみると、「防災備品の準備(懐中電灯、消火器、救急箱、非常用持出し袋など)」が37.9%、「家具の転倒防止策」では19.8%、「被災時の家族との連絡方法の確認」で29.6%、「避難場所の確認」で31.7%などとなっています。いずれの項目も「あまり行っていない」と「まったく行っていない」の比率の方が高くなっており、特に、「家具の転倒防止策」では約7割の方が何の備えもしていません。

第9章 交通対策について

問17 あなたは、6月1日より木曽町内に新しい公共交通のシステムが導入されたことをご存知ですか？（1つに ）

		1 知っている	2 知らない	無回答	合計
木曽福島地区	人数	349	111	18	478
	割合	73.0%	23.2%	3.8%	100.0%
日義地区	人数	180	65	15	260
	割合	69.2%	25.0%	5.8%	100.0%
開田地区	人数	194	22	15	231
	割合	84.0%	9.5%	6.5%	100.0%
三岳地区	人数	186	27	20	233
	割合	79.8%	11.6%	8.6%	100.0%
無回答	人数	13	4	3	20
	割合	65.0%	20.0%	15.0%	100.0%
合計	人数	922	229	71	1,222
	割合	75.5%	18.7%	5.8%	100.0%

木曽町の新しい公共交通システムの認知度



木曽町の新しい交通システムの導入については、約76%の方が知っており、地区別で見ると、開田地区が最も高く84.0%、次いで三岳地区が79.8%、木曽福島地区が73.0%、日義地区が69.2%となっています。

問18 問17で「1 知っている」と回答された方にお聞きします。以前に比べて、どのように変わったかご存知ですか？（知っているものすべてに ）

		1 バスの運行主体が、民間のバス事業者から木曾町の町営に変わった	2 バスのダイヤが改正された	3 料金が安くなった	4 一部のバス路線が廃止された	5 新たに乗合タクシーが導入された	6 新たに巡回バスが導入された	無回答	合計
木曾福島地区	人数	250	219	254	183	212	256	12	349
	割合	71.6%	62.8%	72.8%	52.4%	60.7%	73.4%	3.4%	100.0%
日義地区	人数	129	141	85	113	78	99	4	180
	割合	71.7%	78.3%	47.2%	62.8%	43.3%	55.0%	2.2%	100.0%
開田地区	人数	124	151	180	100	154	156	3	194
	割合	63.9%	77.8%	92.8%	51.5%	79.4%	80.4%	1.5%	100.0%
三岳地区	人数	134	124	157	101	156	93	6	186
	割合	72.0%	66.7%	84.4%	54.3%	83.9%	50.0%	3.2%	100.0%
無回答	人数	5	7	8	6	7	4	2	13
	割合	38.5%	53.8%	61.5%	46.2%	53.8%	30.8%	15.4%	100.0%
合計	人数	642	642	684	503	607	608	27	922
	割合	69.6%	69.6%	74.2%	54.6%	65.8%	65.9%	2.9%	100.0%

木曾町の新しい交通システムの導入によって、以前と比べて、どのように変わったかについての認知度は、「料金が安くなった」が74.2%で最も高く、次いで「バスの運行主体が、民間のバス事業者から木曾町の町営に変わった」と「バスのダイヤが改正された」がともに69.6%などとなっています。

各項目を地区別にみると「バスの運行主体が、民間のバス事業者から木曾町の町営に変わった」という質問では、開田地区が63.9%と低くなっていますが、他地区は70%強となっています。「バスのダイヤが改正された」ことについては、日義地区が78.3%と最も高く、次いで開田地区の77.8%などとなっています。「料金が安くなった」点については、開田地区が92.8%と認知度が高い一方、日義地区では47.2%と開田地区の5割ほどに留まっています。

「一部のバス路線が廃止された」ことについては、日義地区が62.8%と高く、他地区では50%強となっています。「新たに乗合タクシーが導入された」ことに関しては、三岳地区が83.9%と最も高く、次いで開田地区が79.4%で、日義地区では43.3%と三岳地区の5割強に留まっています。「新たに巡回バスが導入された」ことについての認知度は、開田地区が80.4%と最も高く、次いで木曾福島地区の73.4%となっていますが、日義地区と三岳地区ではそれぞれ55.0%、50.0%と低い割合になっています。

問19 新しくなった公共交通システム（町営バス・乗合タクシー）を利用しましたか？（1 つに ）

		1 利用した	2 利用していない	無回答	合計
木曽福島地区	人数	77	270	2	349
	割合	22.1%	77.4%	0.6%	100.0%
日義地区	人数	33	141	6	180
	割合	18.3%	78.3%	3.3%	100.0%
開田地区	人数	55	138	1	194
	割合	28.4%	71.1%	0.5%	100.0%
三岳地区	人数	47	138	1	186
	割合	25.3%	74.2%	0.5%	100.0%
無回答	人数	3	10		13
	割合	23.1%	76.9%		100.0%
合計	人数	215	697	10	922
	割合	23.3%	75.6%	1.1%	100.0%

新しい公共交通システム（町営バス・乗合タクシー）の利用経験については、「利用していない」が75.6%、「利用した」が23.3%で、地区別では、「利用した」方の比率が「開田地区」の方が28.4%と最も高く、次いで三岳地区が25.3%、木曽福島地区が22.1%、日義地区が18.3%となっています。

第10章 地域情報化について

問21 あなたは、高度情報化社会に対応するため、町では今後どのような取り組みを重視すべきだと思いますか。（主なもの3つまでに ）

	人数	割合
1 高度情報通信網の整備促進など情報通信基盤の整備	448	36.7%
2 町ホームページの充実などインターネット等を通じた情報提供の充実	276	22.6%
3 申請・届出等手続の電子化など住民サービスのネットワーク化	235	19.2%
4 住民票等各種証明書の自動交付機設置によるサービスの向上	331	27.1%
5 保健・医療・福祉、生涯学習・文化・スポーツをはじめとする多様な分野での情報サービスの提供	716	58.6%
6 学校教育・生涯学習などでの情報教育の充実	286	23.4%
7 情報化に対応した個人情報保護対策の充実	361	29.5%
8 その他	26	2.1%
無回答	169	13.8%
合計	1,222	100.0%

高度情報化社会に対応するため、町では今後どのような取り組みを重視すべきかとの設問に対しては、「保健・医療・福祉、生涯学習・文化・スポーツをはじめとする多様な分野での情報サービスの提供」が58.6%と最も高く、次いで「高度情報通信網の整備促進など情報通信基盤の整備」が36.7%、「情報化に対応した個人情報保護対策の充実」が29.5%などとなっています。

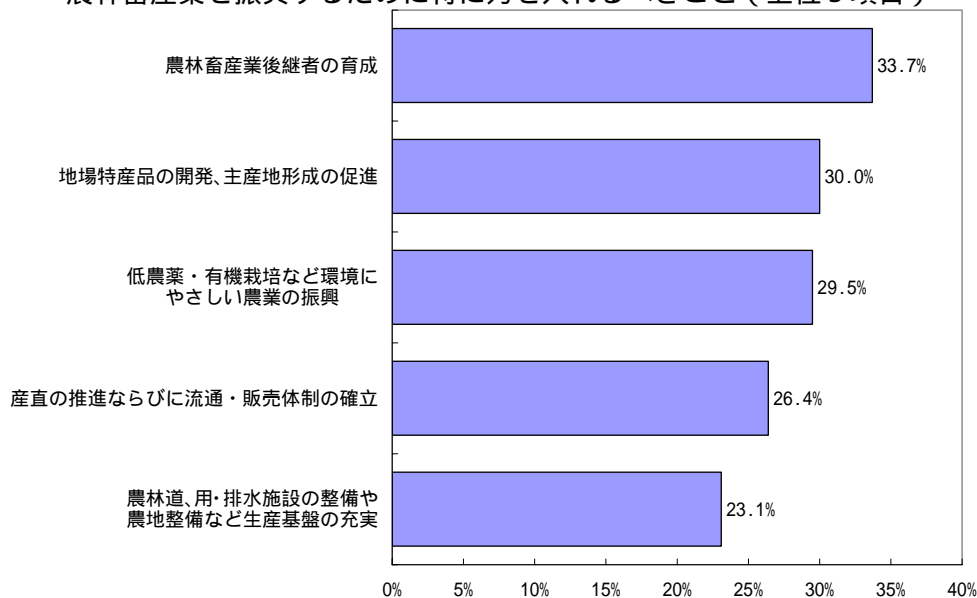
第 11 章 産業振興策について

問22 あなたは、町の農林畜産業を振興するため、今後どのようなことに特に力を入れるべきだと思いますか。（主なもの3つまでに）

	人数	割合
1 農林道、用・排水施設の整備や農地整備など生産基盤の充実	282	23.1%
2 優良農地の保全	178	14.6%
3 農地の集約や農作業受委託などによる経営規模の拡大	165	13.5%
4 農林畜産業生産グループ・団体づくりや育成施策の強化	153	12.5%
5 農林畜産業後継者の育成	412	33.7%
6 先端技術などの積極的導入(新品種、情報システムの導入など)	122	10.0%
7 地場特産品の開発、主産地形成の促進	367	30.0%
8 農林畜産物を利用した加工食品の開発	188	15.4%
9 体験農林業、観光農林業、町民農園などの振興	218	17.8%
10 低農薬・有機栽培など環境にやさしい農業の振興	361	29.5%
11 産直の推進ならびに流通・販売体制の確立	323	26.4%
12 現状のままでよい	88	7.2%
13 その他	29	2.4%
無回答	115	9.4%
合計	1,222	100.0%

「町の農林畜産業を振興するため、今後どのようなことに特に力を入れるべきか」については、回答比率の高い順に「農林畜産業後継者の育成」の33.7%、「地場特産品の開発、主産地形成の促進」の30.0%、「低農薬・有機栽培など環境にやさしい農業の振興」の29.5%、「産直の推進ならびに流通・販売体制の確立」の26.4%などとなっています。

農林畜産業を振興するために特に力を入れるべきこと（上位5項目）

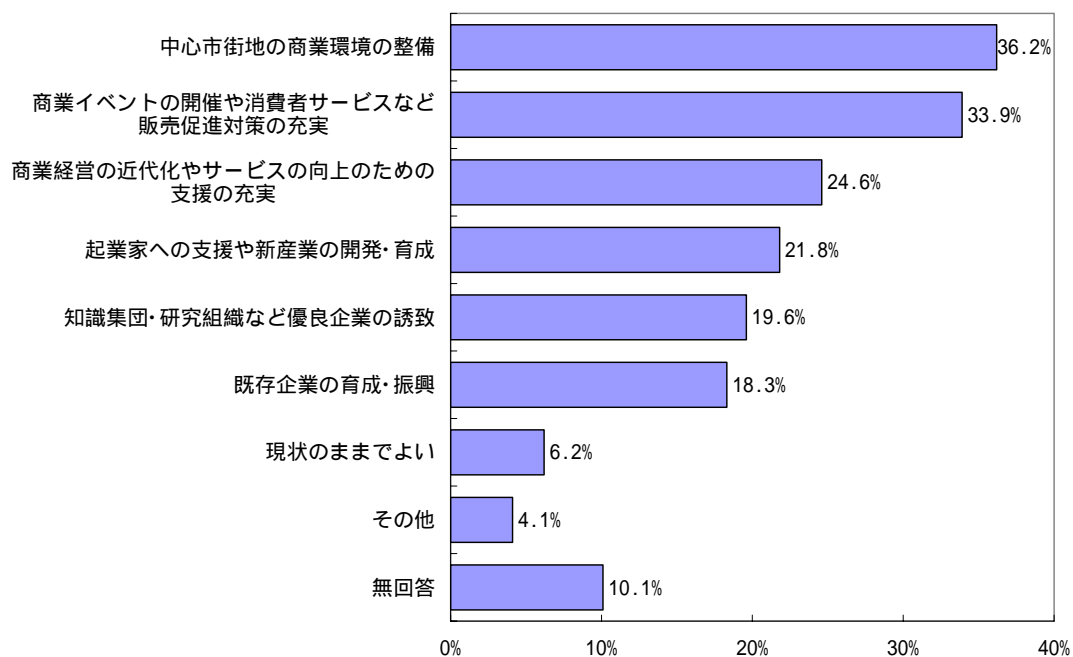


問23 あなたは、町の商工業を振興するため、今後どのようなことに特に力を入れるべきだと思いますか。（主なもの2つまでに）

	人数	合計
1 中心市街地の商業環境の整備	442	36.2%
2 商業イベントの開催や消費者サービスなど販売促進対策の充実	414	33.9%
3 商業経営の近代化やサービスの向上のための支援の充実	301	24.6%
4 既存企業の育成・振興	224	18.3%
5 知識集団・研究組織など優良企業の誘致	239	19.6%
6 起業家への支援や新産業の開発・育成	267	21.8%
7 現状のままでよい	76	6.2%
8 その他	50	4.1%
無回答	123	10.1%
合計	1,222	100.0%

「町の商工業を振興するため、今後どのようなことに特に力を入れるべきか」については、「中心市街地の商業環境の整備」が36.2%と最も高く、次いで「商業イベントの開催や消費者サービスなど販売促進対策の充実」が33.9%、「商業経営の近代化やサービスの向上のための支援の充実」が24.6%、「起業家への支援や新産業の開発・育成」が21.8%などとなっています。

商工業を振興するために特に力を入れるべきこと（比率の高い順）

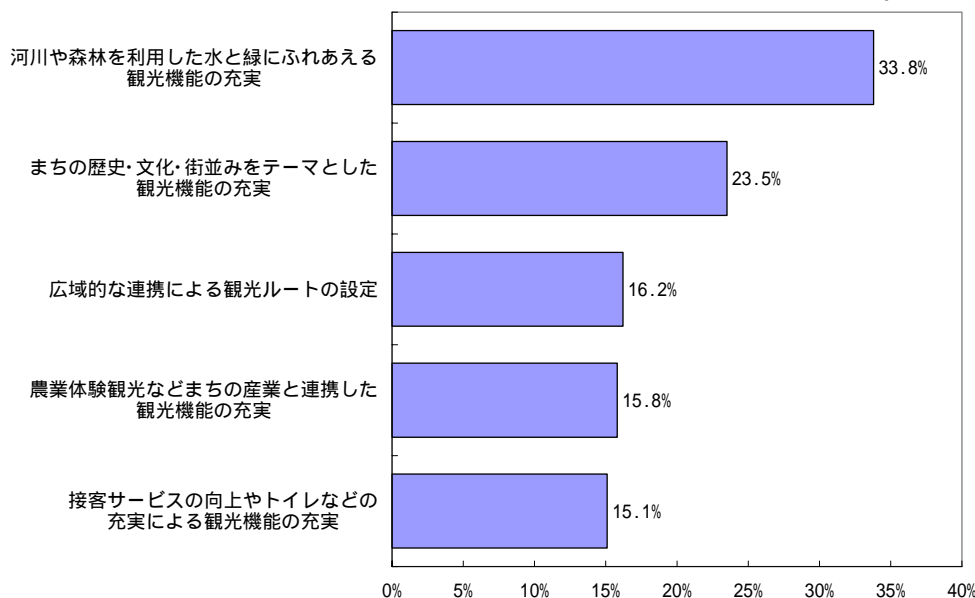


問24 あなたは、町の観光・レクリエーション開発・振興のために、今後どのようなことに特に力を入れるべきだと思いますか。（主なもの2つまでに）

	人数	合計
1 まちの歴史・文化・街並みをテーマとした観光機能の充実	287	23.5%
2 河川や森林を利用した水と緑にふれあえる観光機能の充実	413	33.8%
3 農業体験観光などまちの産業と連携した観光機能の充実	193	15.8%
4 イベントや祭りの内容の充実	177	14.5%
5 温泉を活用した観光機能の充実	150	12.3%
6 スキー場を活用した観光機能の充実	137	11.2%
7 既存施設を利用したスポーツ合宿や学術研究合宿による誘客の促進	140	11.5%
8 接客サービスの向上やトイレなどの充実による観光機能の充実	184	15.1%
9 わかりやすい観光案内板の整備	144	11.8%
10 広域的な連携による観光ルートの設定	198	16.2%
11 モデル的な観光ルートマップの作成	39	3.2%
12 観光開発は、自然環境や生活環境の悪化につながりかねないので進めるべきではない	72	5.9%
13 その他	39	3.2%
無回答	92	7.5%
合計	1,222	100.0%

「町の観光・レクリエーション開発・振興のため、今後どのようなことに特に力を入れるべきか」については、回答比率の高い順に「河川や森林を利用した水と緑にふれあえる観光機能の充実」が33.8%、「まちの歴史・文化・街並みをテーマとした観光機能の充実」が23.5%、「広域的な連携による観光ルートの設定」が16.2%などとなっています。

観光・レクリエーション開発・振興のために特に力を入れるべきこと（上位5項目）

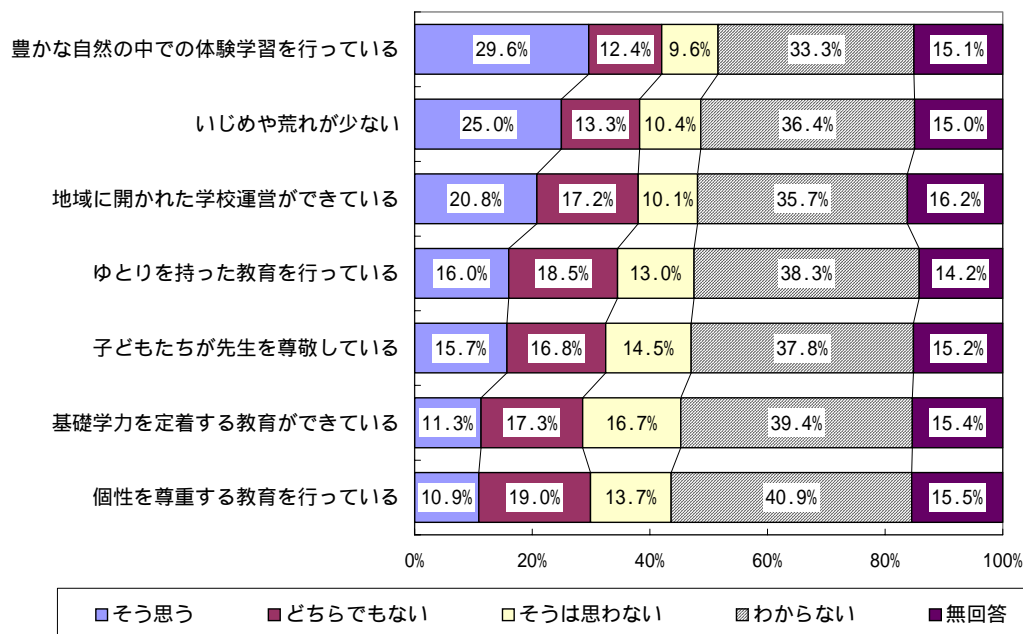


第12章 学習・スポーツなどについて

問25 町の小・中学校の教育について、どう感じていますか。(それぞれ1つに)

	そう思う		どちらでもない		そうは思わない		わからない		無回答		合計	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
ゆとりを持った教育を行っている	196	16.0%	226	18.5%	159	13.0%	468	38.3%	173	14.2%	1,222	100.0%
基礎学力を定着する教育ができています	138	11.3%	211	17.3%	204	16.7%	481	39.4%	188	15.4%	1,222	100.0%
個性を尊重する教育を行っている	133	10.9%	232	19.0%	167	13.7%	500	40.9%	190	15.5%	1,222	100.0%
豊かな自然の中での体験学習を行っている	362	29.6%	152	12.4%	117	9.6%	407	33.3%	184	15.1%	1,222	100.0%
地域に開かれた学校運営ができています	254	20.8%	210	17.2%	124	10.1%	436	35.7%	198	16.2%	1,222	100.0%
子どもたちが先生を尊敬している	192	15.7%	205	16.8%	177	14.5%	462	37.8%	186	15.2%	1,222	100.0%
いじめや荒れが少ない	305	25.0%	162	13.3%	127	10.4%	445	36.4%	183	15.0%	1,222	100.0%

小・中学校の教育について、どう感じているか(「そう思う」の比率の高い順)



町の小・中学校の教育について、どう感じているかとの設問で、「そう思う」と答えた比率が高いものは、「豊かな自然の中での体験学習を行っている」が最も高く29.6%、次いで「いじめや荒れが少ない」が25.0%、「地域に開かれた学校運営ができています」20.8%などとなっています。

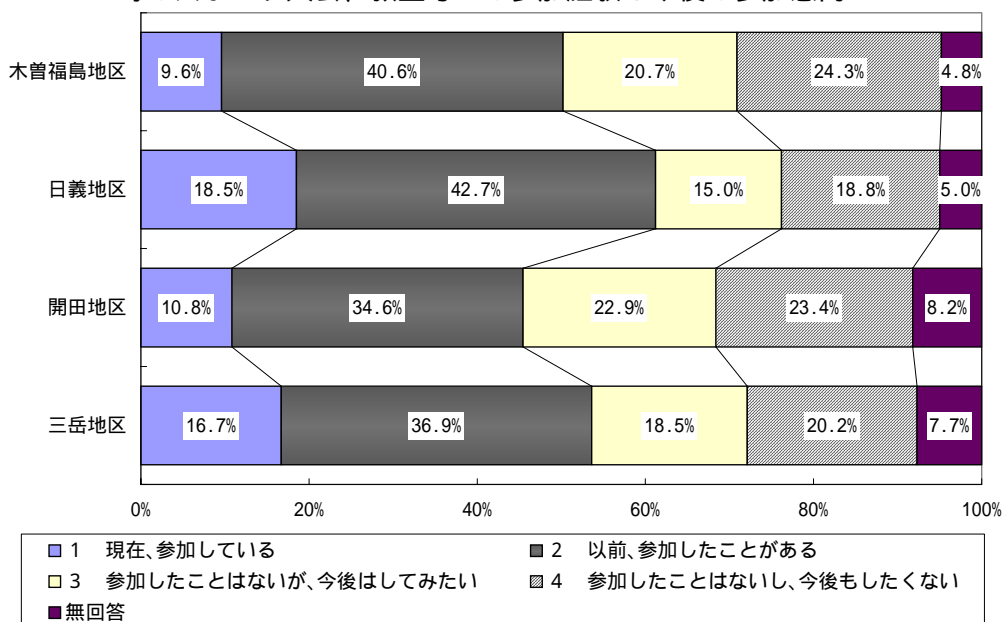
「そうは思わない」との回答が「そう思う」を上回っている項目としては、「基礎学力を定着する教育ができています」と「個性を尊重する教育を行っている」で、それぞれ16.7%、13.7%となっています。

また、「そう思う」と「そうは思わない」の回答がほぼ同程度の比率になっているものとしては、「子どもたちが先生を尊敬している」で「そう思う」が15.7%、「そうは思わない」が14.5%となっています。

問26 あなたは、町のスポーツ大会、教室等に参加したことがありますか。(1つに)

		1 現在、参加している	2 以前、参加したことがある	3 参加したことはないが、今後はしてみたい	4 参加したことはないし、今後もしたくない	無回答	合計
木曽福島地区	人数	46	194	99	116	23	478
	割合	9.6%	40.6%	20.7%	24.3%	4.8%	100.0%
日義地区	人数	48	111	39	49	13	260
	割合	18.5%	42.7%	15.0%	18.8%	5.0%	100.0%
開田地区	人数	25	80	53	54	19	231
	割合	10.8%	34.6%	22.9%	23.4%	8.2%	100.0%
三岳地区	人数	39	86	43	47	18	233
	割合	16.7%	36.9%	18.5%	20.2%	7.7%	100.0%
無回答	人数	1	5	4	7	3	20
	割合	5.0%	25.0%	20.0%	35.0%	15.0%	100.0%
合計	人数	159	476	238	273	76	1,222
	割合	13.0%	39.0%	19.5%	22.3%	6.2%	100.0%

町のスポーツ大会、教室等への参加経験と今後の参加意向



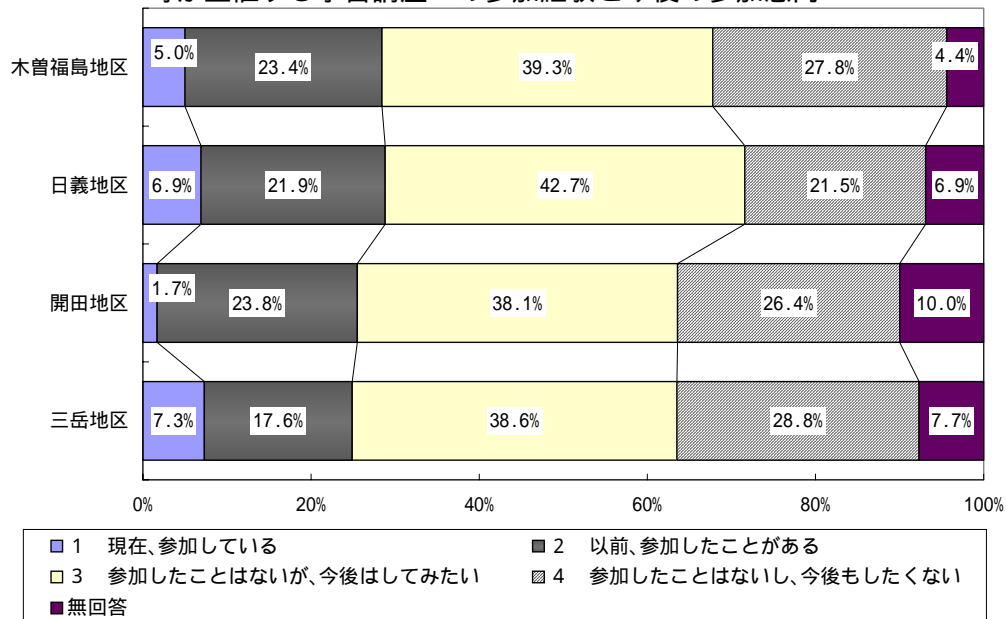
町のスポーツ大会、教室等に参加したことがあるかについては、「以前、参加したことがある」が最も高く39.0%、次いで「参加したことはないし、今後もしたくない」が22.3%、「参加したことはないが、今後はしてみたい」が19.5%などとなっています。

地区別では、「現在、参加している」では日義地区と三岳地区(18.5%、16.7%)の比率が高くなっています。「以前、参加したことがある」では日義地区と木曽福島地区(42.7%、40.6%)が高くなっています。また、「参加したことはないが、今後はしてみたい」では開田地区と木曽福島地区(22.9%、20.7%)、「参加したことはないし、今後もしたくない」では、木曽福島地区と開田地区(24.3%、23.4%)の比率が高くなっています。

問27 あなたは、町が主催する学習講座に参加したことがありますか。(1つに)

		1 現在、参加している	2 以前、参加したことがある	3 参加したことはないが、今後はしてみたい	4 参加したことはないし、今後もしたくない	無回答	合計
木曽福島地区	人数	24	112	188	133	21	478
	割合	5.0%	23.4%	39.3%	27.8%	4.4%	100.0%
日義地区	人数	18	57	111	56	18	260
	割合	6.9%	21.9%	42.7%	21.5%	6.9%	100.0%
開田地区	人数	4	55	88	61	23	231
	割合	1.7%	23.8%	38.1%	26.4%	10.0%	100.0%
三岳地区	人数	17	41	90	67	18	233
	割合	7.3%	17.6%	38.6%	28.8%	7.7%	100.0%
無回答	人数	1	5	8	4	2	20
	割合	5.0%	25.0%	40.0%	20.0%	10.0%	100.0%
合計	人数	64	270	485	321	82	1,222
	割合	5.2%	22.1%	39.7%	26.3%	6.7%	100.0%

町が主催する学習講座への参加経験と今後の参加意向



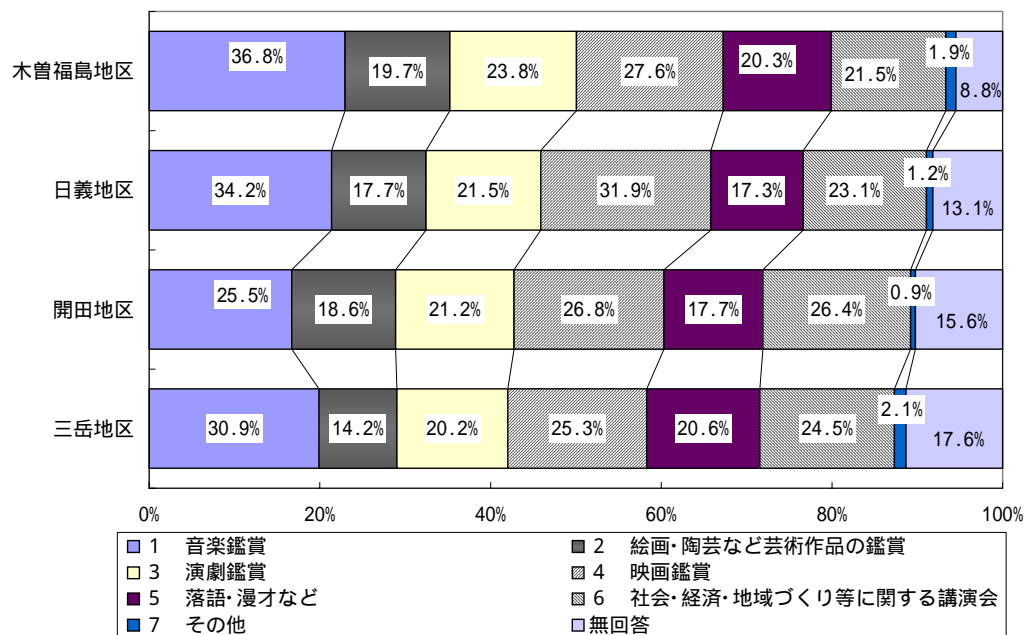
町が主催する学習講座に参加したことがあるかについては、「参加したことはないが、今後はしてみたい」が39.7%、「参加したことはないし、今後もしたくない」が26.3%、「以前、参加したことがある」が22.1%で続いています。

地区別では、「現在、参加している」では三岳地区と日義地区(7.3%、6.9%)の比率が高く、開田地区は1.7%と低くなっています。「以前、参加したことがある」では開田地区、木曽福島地区、日義地区(23.8%、23.4%、21.9%)が高くなっています。また、「参加したことはないが、今後はしてみたい」では4地区ともほぼ同じで40%前後、「参加したことはないし、今後もしたくない」では、日義地区が21.5%と低く、他地区はおよそ26~29%となっています。

問28 町内で実施される文化・芸術鑑賞では、こういった分野を充実してほしいですか。（主なもの2つまでに）

		1 音楽鑑賞	2 絵画・陶芸など芸術作品の鑑賞	3 演劇鑑賞	4 映画鑑賞	5 落語・漫才など	6 社会・経済・地域づくり等に関する講演会	7 その他	無回答	合計
木曽福島地区	人数	176	94	114	132	97	103	9	42	478
	割合	36.8%	19.7%	23.8%	27.6%	20.3%	21.5%	1.9%	8.8%	100.0%
日義地区	人数	89	46	56	83	45	60	3	34	260
	割合	34.2%	17.7%	21.5%	31.9%	17.3%	23.1%	1.2%	13.1%	100.0%
開田地区	人数	59	43	49	62	41	61	2	36	231
	割合	25.5%	18.6%	21.2%	26.8%	17.7%	26.4%	0.9%	15.6%	100.0%
三岳地区	人数	72	33	47	59	48	57	5	41	233
	割合	30.9%	14.2%	20.2%	25.3%	20.6%	24.5%	2.1%	17.6%	100.0%
無回答	人数	7	1	1	7		4	1	7	20
	割合	35.0%	5.0%	5.0%	35.0%		20.0%	5.0%	35.0%	100.0%
合計	人数	403	217	267	343	231	285	20	160	1,222
	割合	33.0%	17.8%	21.8%	28.1%	18.9%	23.3%	1.6%	13.1%	100.0%

町内で実施される文化・芸術鑑賞では、こういった分野を充実してほしいか



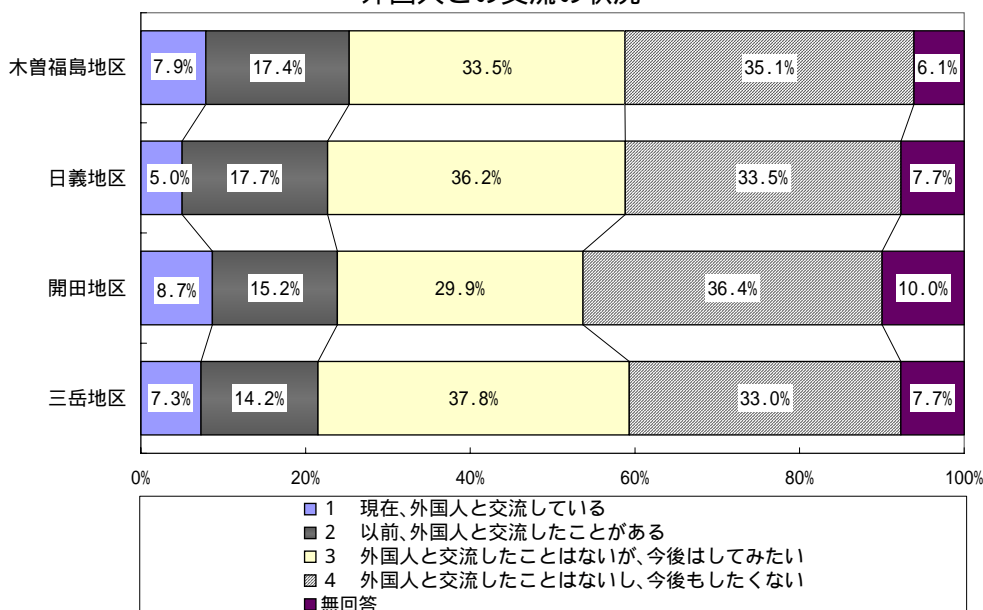
町内で実施される文化・芸術鑑賞では、こういった分野を充実してほしいについては、「音楽鑑賞」が最も高く33.0%、次いで「映画鑑賞」が28.1%、「社会・経済・地域づくり等に関する講演会」が23.3%などとなっています。

地区別にみると、木曽福島地区、日義地区、三岳地区では「音楽鑑賞」（36.8%、34.2%、30.9%）が最も高く、次いで「映画鑑賞」（27.6%、31.9%、25.3%）の順になっています。開田地区では「映画鑑賞」が26.8%、「社会・経済・地域づくり等に関する講演会」が26.4%、「音楽鑑賞」が25.5%などとなっています。

問29 あなたは、外国人と何らかの交流（親しくつきあう、お世話をするなど）をしたことがありますか。（1つに）

		1 現在、外国人と交流している	2 以前、外国人と交流したことがある	3 外国人と交流したことはないが、今後はしてみたい	4 外国人と交流したことはないし、今後もしたくない	無回答	合計
木曽福島地区	人数	38	83	160	168	29	478
	割合	7.9%	17.4%	33.5%	35.1%	6.1%	100.0%
日義地区	人数	13	46	94	87	20	260
	割合	5.0%	17.7%	36.2%	33.5%	7.7%	100.0%
開田地区	人数	20	35	69	84	23	231
	割合	8.7%	15.2%	29.9%	36.4%	10.0%	100.0%
三岳地区	人数	17	33	88	77	18	233
	割合	7.3%	14.2%	37.8%	33.0%	7.7%	100.0%
無回答	人数	2	3	6	5	4	20
	割合	10.0%	15.0%	30.0%	25.0%	20.0%	100.0%
合計	人数	90	200	417	421	94	1,222
	割合	7.4%	16.4%	34.1%	34.5%	7.7%	100.0%

外国人との交流の状況



外国人と何らかの交流（親しくつきあう、お世話をするなど）をしたことがあるかという設問については、「外国人と交流したことはないし、今後もしたくない」が最も高く34.5%、次いで「外国人と交流したことはないが、今後はしてみたい」が34.1%、「以前、外国人と交流したことがある」が16.4%などとなっています。

地区別にみると、木曽福島地区と開田地区では「外国人と交流したことはないし、今後もしたくない」が最も高く、次いで「外国人と交流したことはないが、今後はしてみたい」の順になっています。日義地区と三岳地区では順位が入れ替わっており「外国人と交流したことはないが、今後はしてみたい」が最も高く、外国人と交流したことはないし、今後もしたくないが続いています。外国人と関わりを持っている方、持ったことのある方、持ちたい方は、6割近くになります。

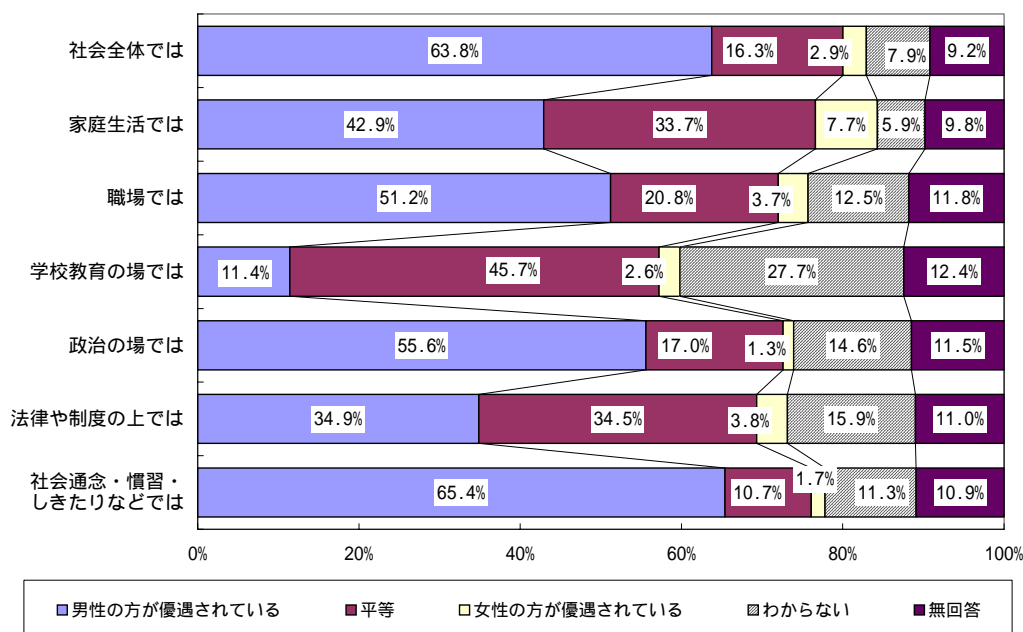
第13章 男女共同参画について

問30 あなたは、今からあげるような分野で男女の地位は平等になっていると思いますか。

～ のそれぞれについて、どちらかが優遇されている、または平等と思うという1～6の番号に をつけてください。

	男性の方が非常に優遇されている		どちらかといえば男性の方が優遇されている		平等		どちらかといえば女性の方が優遇されている		女性の方が非常に優遇されている		わからない		無回答		合計	
	度数	%	度数	%	度数	%	度数	%	度数	%	度数	%	度数	%	度数	%
社会全体では	162	13.3%	617	50.5%	199	16.3%	33	2.7%	3	0.2%	96	7.9%	112	9.2%	1,222	100.0%
家庭生活では	101	8.3%	423	34.6%	412	33.7%	82	6.7%	12	1.0%	72	5.9%	120	9.8%	1,222	100.0%
職場では	146	11.9%	480	39.3%	254	20.8%	37	3.0%	8	0.7%	153	12.5%	144	11.8%	1,222	100.0%
学校教育の場では	20	1.6%	120	9.8%	559	45.7%	29	2.4%	3	0.2%	339	27.7%	152	12.4%	1,222	100.0%
政治の場では	218	17.8%	462	37.8%	208	17.0%	15	1.2%	1	0.1%	178	14.6%	140	11.5%	1,222	100.0%
法律や制度の上では	100	8.2%	326	26.7%	422	34.5%	44	3.6%	2	0.2%	194	15.9%	134	11.0%	1,222	100.0%
社会通念・慣習・しきたりなどでは	259	21.2%	540	44.2%	131	10.7%	17	1.4%	4	0.3%	138	11.3%	133	10.9%	1,222	100.0%

分野で男女の地位は平等になっていると思うか（再グループ化しています）



注) 男性の方が優遇されている：「男性の方が非常に優遇されている」+「どちらかといえば男性が優遇されている」
女性の方が優遇されている：「どちらかといえば女性が優遇されている」+「女性の方が非常に優遇されている」

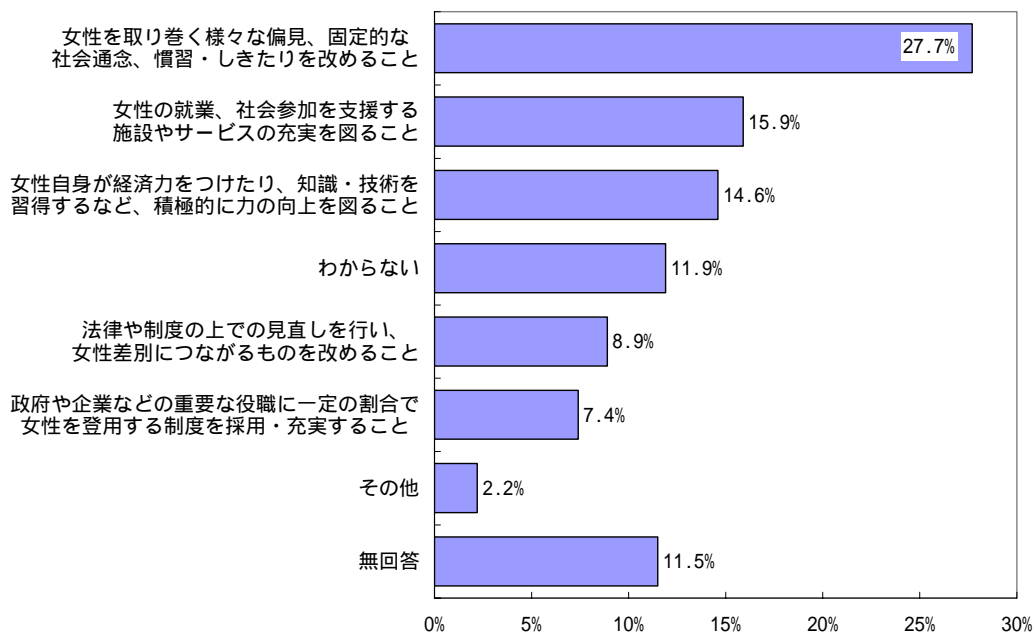
さまざまな分野で男女の地位は平等になっているかとの設問には、「学校教育の場では」で「男性の方が優遇されている」を「平等」が上回っており45.7%となっています。また、「法律や制度の上では」については、「男性の方が優遇されている」と「平等」がほぼ同数(34.9%、34.5%)となっています。

他の分野ではすべて「男性の方が優遇されている」が「平等」を上回っています。

問31 今後、あなたが、男女が社会のあらゆる分野でもっと平等になるために最も重要と思うことは何でしょうか。(1つに)

	人数	割合
1 法律や制度の上での見直しを行い、女性差別につながるものを改めること	109	8.9%
2 女性を取り巻く様々な偏見、固定的な社会通念、慣習・しきたりを改めること	338	27.7%
3 女性自身が経済力をつけたり、知識・技術を習得するなど、積極的に力の向上を図ること	179	14.6%
4 女性の就業、社会参加を支援する施設やサービスの充実を図ること	194	15.9%
5 政府や企業などの重要な役職に一定の割合で女性を登用する制度を採用・充実すること	90	7.4%
6 その他	27	2.2%
7 わからない	145	11.9%
無回答	140	11.5%
合計	1222	100.0%

男女が社会でもっと平等になるために重要なこと(比率の高い順)



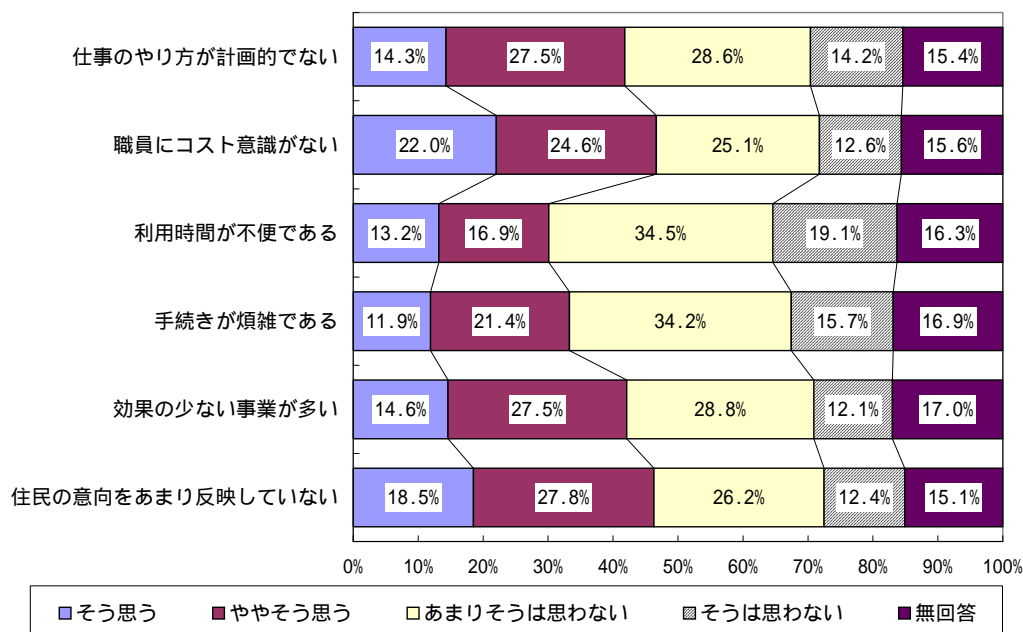
男女が社会のあらゆる分野でもっと平等になるために最も重要と思うこととしては、「女性を取り巻く様々な偏見、固定的な社会通念、慣習・しきたりを改めること」が27.7%で最も高く、次いで「女性の就業、社会参加を支援する施設やサービスの充実を図ること」が15.9%、「女性自身が経済力をつけたり、知識・技術を習得するなど、積極的に力の向上を図ること」が14.6%などとなっています。

第14章 行政運営について

問32 あなたは、役場の仕事ぶりをどう感じていますか。(それぞれ1つに)

	そう思う		ややそう思う		あまりそうは思わない		そうは思わない		無回答		合計	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
仕事のやり方が計画的でない	175	14.3%	336	27.5%	350	28.6%	173	14.2%	188	15.4%	1,222	100.0%
職員にコスト意識がない	269	22.0%	301	24.6%	307	25.1%	154	12.6%	191	15.6%	1,222	100.0%
利用時間が不便である	161	13.2%	207	16.9%	422	34.5%	233	19.1%	199	16.3%	1,222	100.0%
手続きが煩雑である	145	11.9%	261	21.4%	418	34.2%	192	15.7%	206	16.9%	1,222	100.0%
効果の少ない事業が多い	178	14.6%	336	27.5%	352	28.8%	148	12.1%	208	17.0%	1,222	100.0%
住民の意向をあまり反映していない	226	18.5%	340	27.8%	320	26.2%	152	12.4%	184	15.1%	1,222	100.0%

役場の仕事ぶりについて



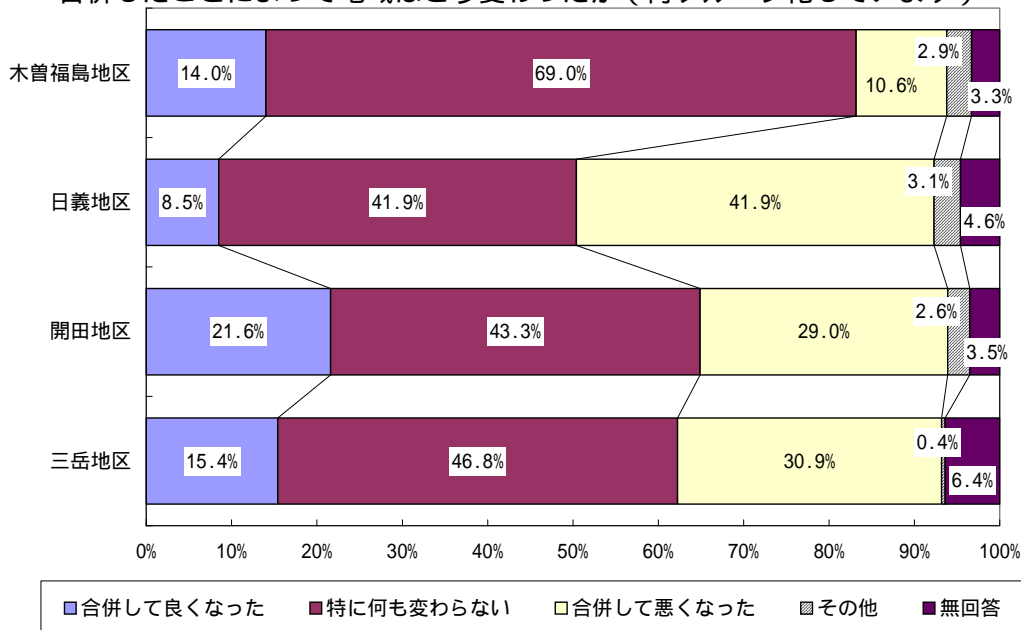
役場の仕事をどう感じるかについては、「そう思う」と「ややそう思う」を合わせた比率で、「職員にコスト意識がない」や「効果の少ない事業が多い」、「住民の意向をあまり反映していない」で、「あまりそう思わない」と「そうは思わない」を合わせた比率を上回っています。一方、「仕事のやり方が計画的でない」や「利用時間が不便である」「手続きが煩雑である」で、「あまりそう思わない」と「そうは思わない」を合わせた比率が、「そう思う」と「ややそう思う」を合わせた比率を上回っています。

問33 木曽町に合併したことにより、合併前と比べてあなたの地域はどう変わりましたか。

(1つに)

		1 合併して 良くなった	2 合併して少 し良くなった	3 特に何も変 わらない	4 合併して少 し悪くなった	5 合併して 悪くなった	6 その他	無回答	合計
木曽福島地区	人数	15	52	330	37	14	14	16	478
	割合	3.1%	10.9%	69.0%	7.7%	2.9%	2.9%	3.3%	100.0%
日義地区	人数	1	21	109	63	46	8	12	260
	割合	0.4%	8.1%	41.9%	24.2%	17.7%	3.1%	4.6%	100.0%
開田地区	人数	13	37	100	43	24	6	8	231
	割合	5.6%	16.0%	43.3%	18.6%	10.4%	2.6%	3.5%	100.0%
三岳地区	人数	5	31	109	48	24	1	15	233
	割合	2.1%	13.3%	46.8%	20.6%	10.3%	0.4%	6.4%	100.0%
無回答	人数	2	1	3	5	4		5	20
	割合	10.0%	5.0%	15.0%	25.0%	20.0%		25.0%	100.0%
合計	人数	36	142	651	196	112	29	56	1,222
	割合	2.9%	11.6%	53.3%	16.0%	9.2%	2.4%	4.6%	100.0%

合併したことによって地域はどう変わったか(再グループ化しています)



注) 合併して良くなった：「合併して良くなった」+「合併して少し良くなった」
 合併して悪くなった：「合併して少し悪くなった」+「合併して悪くなった」

合併したことにより、合併前と比べてそれぞれの地域でどう変わったかについては、「特に何も変わらない」が53.3%と最も高く、次いで「合併して少し悪くなった」が16.0%、「合併して少し良くなった」が11.6%などとなっています。

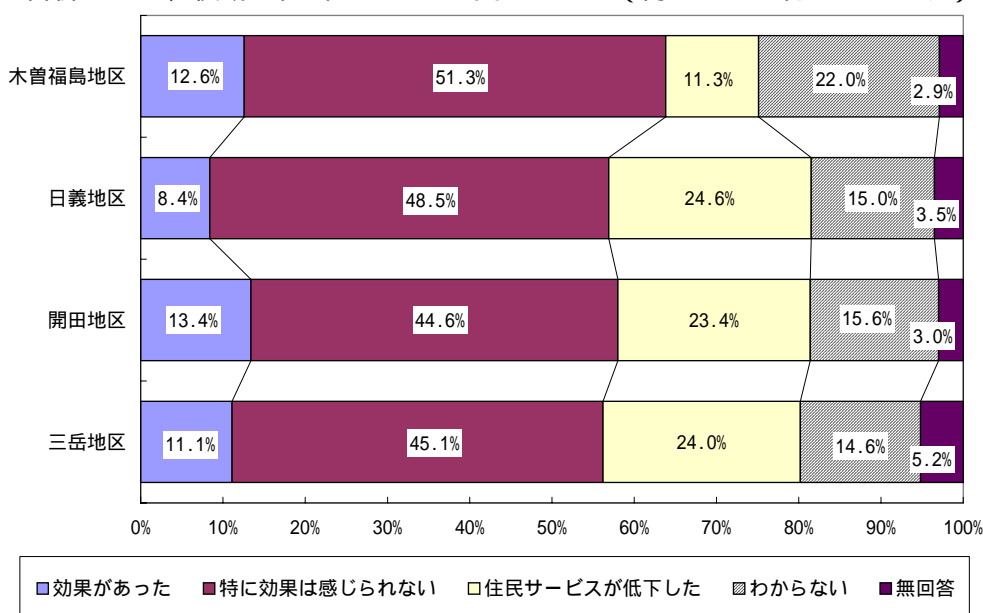
再グループ化後の比率を地区別にみると、「合併して良くなった」では、開田地区が21.6%、三岳地区が15.4%、木曽福島地区が14.0%、日義地区が8.5%となっており、「合併して悪くなった」では、日義地区41.9%、三岳地区30.9%、開田地区29.0%、木曽福島地区10.6%となっています。また、「特に何も変わらない」では、木曽福島地区が69.0%ですが、他地区では40%台となっています。

第15章 町村合併について

問34 木曽町に合併したことにより、役場の住民サービスはどう変わりましたか。(1つに)

		1 大変効果があった	2 少しは効果があった	3 特に効果は感じられない	4 少し住民サービスが低下した	5 大きく住民サービスが低下した	6 わからない	無回答	合計
木曽福島地区	人数	17	43	245	44	10	105	14	478
	割合	3.6%	9.0%	51.3%	9.2%	2.1%	22.0%	2.9%	100.0%
日義地区	人数	4	18	126	34	30	39	9	260
	割合	1.5%	6.9%	48.5%	13.1%	11.5%	15.0%	3.5%	100.0%
開田地区	人数	7	24	103	40	14	36	7	231
	割合	3.0%	10.4%	44.6%	17.3%	6.1%	15.6%	3.0%	100.0%
三岳地区	人数	4	22	105	41	15	34	12	233
	割合	1.7%	9.4%	45.1%	17.6%	6.4%	14.6%	5.2%	100.0%
無回答	人数	2	1	2	1	6	4	4	20
	割合	10.0%	5.0%	10.0%	5.0%	30.0%	20.0%	20.0%	100.0%
合計	人数	34	108	581	160	75	218	46	1,222
	割合	2.8%	8.8%	47.5%	13.1%	6.1%	17.8%	3.8%	100.0%

合併により、役場の住民サービスは変わったか(再グループ化しています)



注) 効果があった：「大変効果があった」+「少しは効果があった」

住民サービスが低下した：「少し住民サービスが低下した」+「大きく住民サービスが低下した」

合併したことにより、役場の住民サービスはどう変わったかについての設問では、「特に効果は感じられない」が47.5%と最も高く、次いで「わからない」が17.8%、「少し住民サービスが低下した」が13.1%などとなっています。

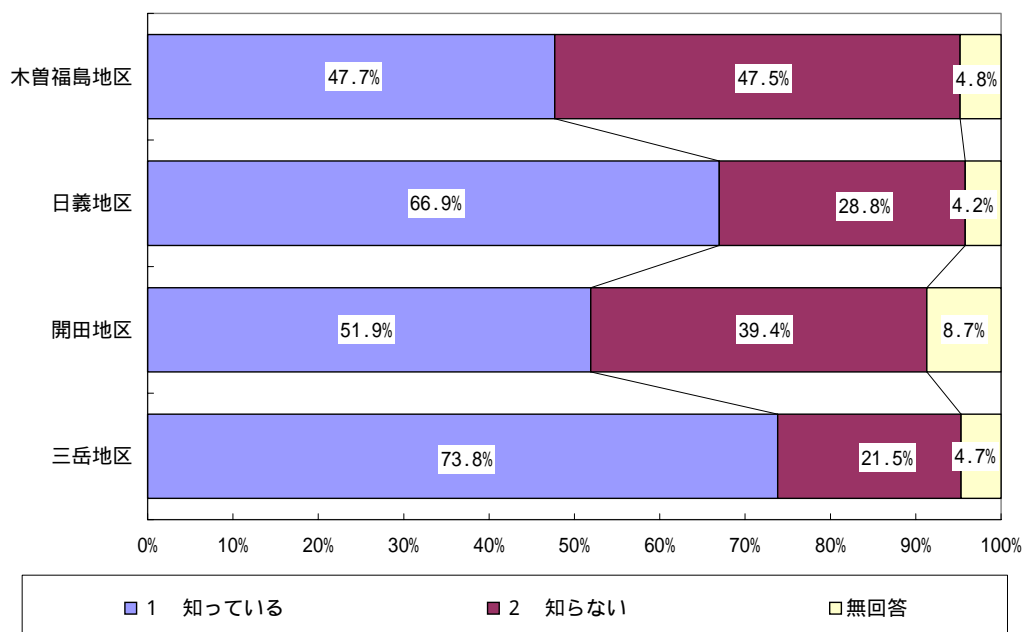
再グループ化後の比率を地区別にみると、「効果があった」については、開田地区が13.4%、木曽福島地区が12.6%、三岳地区が11.1%、日義地区が8.4%となっています。一方、「住民サービスが低下した」については、日義地区が24.6%、三岳地区が24.0%、開田地区が23.4%、木曽福島地区が11.3%となっています。「特に効果は感じられない」では、木曽福島地区と日義地区が他地区より高くなっています。

第 16 章 地方自治組織について

問35 あなたの地域（旧町村地域）で、地域自治組織が発足したことをご存知ですか。（1つに）

		1 知っている	2 知らない	無回答	合計
木曽福島地区	人数	228	227	23	478
	割合	47.7%	47.5%	4.8%	100.0%
日義地区	人数	174	75	11	260
	割合	66.9%	28.8%	4.2%	100.0%
開田地区	人数	120	91	20	231
	割合	51.9%	39.4%	8.7%	100.0%
三岳地区	人数	172	50	11	233
	割合	73.8%	21.5%	4.7%	100.0%
無回答	人数	8	8	4	20
	割合	40.0%	40.0%	20.0%	100.0%
合計	人数	702	451	69	1,222
	割合	57.4%	36.9%	5.6%	100.0%

地域自治組織の発足についての認知度



地域自治組織の発足に対する認知度は、57.4%の方が「知っている」、36.9%の方が「知らない」と答えています。

地区別にみると、三岳地区が73.8%と最も高く、次いで日義地区66.9%、開田地区が51.9%、木曽福島地区が47.7%となっています。

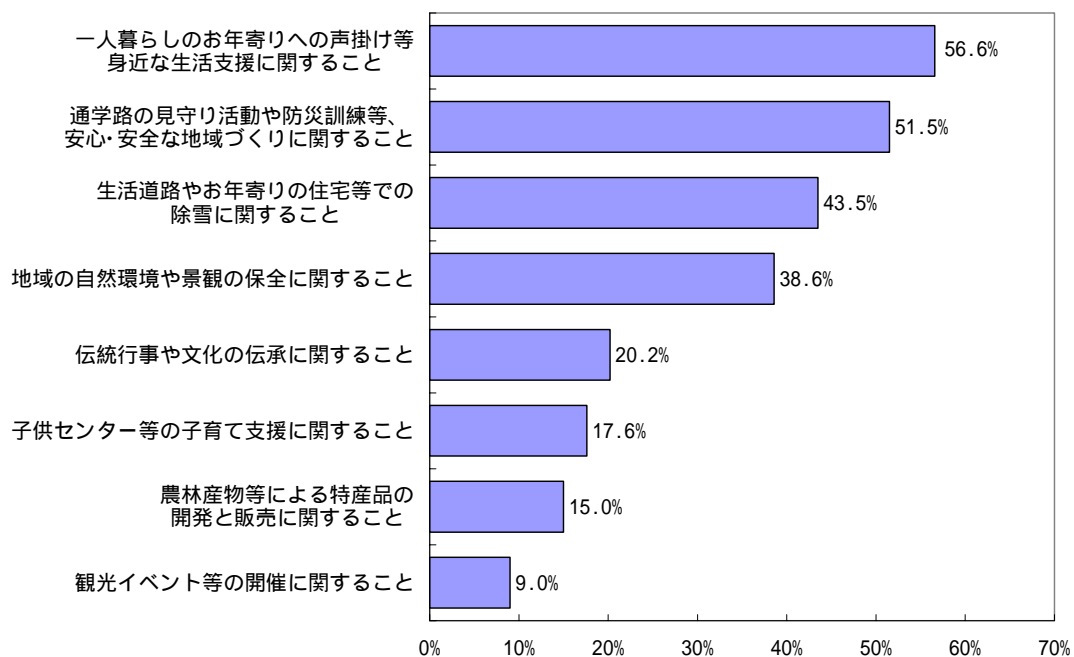
木曽福島地区では「知っている」と「知らない」がほぼ同じ比率になっています。

問36 あなたは今後、地域自治組織がどのような活動を重点的に取り組むべきだと考えますか。

(3 つまでに)

		1 通学路の見守り活動や防災訓練等、安心・安全な地域づくりに関すること	2 地域の自然環境や景観の保全に関すること	3 子供センター等の子育て支援に関すること	4 一人暮らしのお年寄りへの声掛け等身近な生活支援に関すること	5 生活道路やお年寄りの住宅等での除雪に関すること	6 農林産物等による特産品の開発と販売に関すること	7 観光イベント等の開催に関すること	8 伝統行事や文化の伝承に関すること	9 その他	無回答	合計
		木曽福島地区	人数	260	177	100	293	197	63	46	104	14
	割合	54.4%	37.0%	20.9%	61.3%	41.2%	13.2%	9.6%	21.8%	2.9%	5.2%	100.0%
日義地区	人数	138	97	53	157	112	30	21	60	2	9	260
	割合	53.1%	37.3%	20.4%	60.4%	43.1%	11.5%	8.1%	23.1%	0.8%	3.5%	100.0%
開田地区	人数	106	104	31	115	105	49	29	40	4	18	231
	割合	45.9%	45.0%	13.4%	49.8%	45.5%	21.2%	12.6%	17.3%	1.7%	7.8%	100.0%
三岳地区	人数	118	88	28	119	113	36	13	40	9	18	233
	割合	50.6%	37.8%	12.0%	51.1%	48.5%	15.5%	5.6%	17.2%	3.9%	7.7%	100.0%
無回答	人数	7	6	3	8	4	5	1	3		5	20
	割合	35.0%	30.0%	15.0%	40.0%	20.0%	25.0%	5.0%	15.0%		25.0%	100.0%
合計	人数	629	472	215	692	531	183	110	247	29	75	1,222
	割合	51.5%	38.6%	17.6%	56.6%	43.5%	15.0%	9.0%	20.2%	2.4%	6.1%	100.0%

地域自治組織が今後、重点的に取り組むべき活動（比率の高い順）



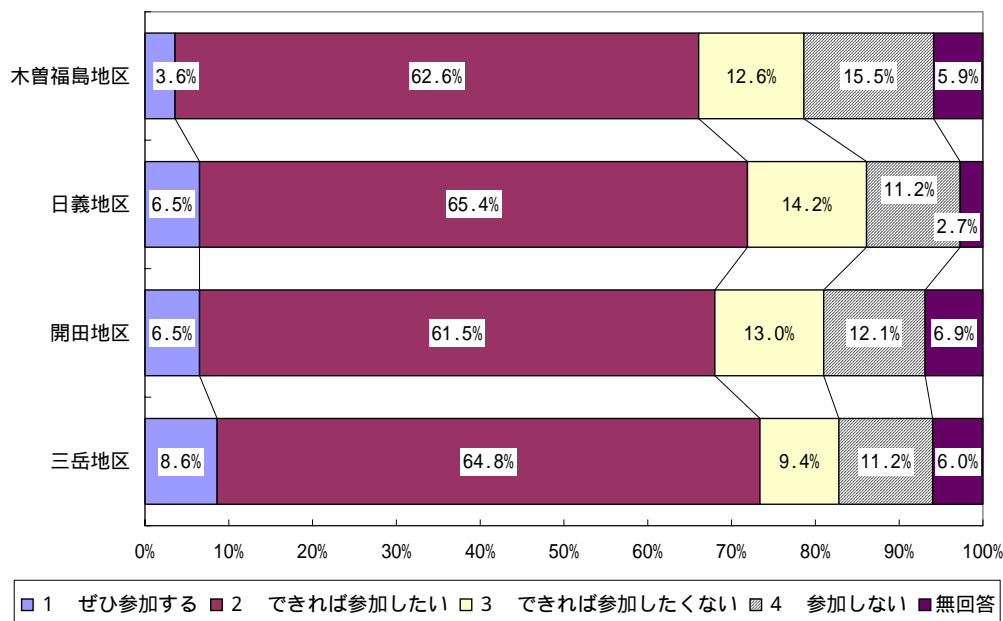
今後、地域自治組織がどのような活動を重点的に取り組むべきかという設問に対しては、「一人暮らしのお年寄りへの声掛け等身近な生活支援に関すること」と答えた方が最も多く56.6%、次いで「通学路の見守り活動や防災訓練等、安心・安全な地域づくりに関すること」が51.5%、「生活道路やお年寄りの住宅等での除雪に関すること」が43.5%、「地域の自然環境や景観の保全に関すること」が38.6%などとなっています。

地区別にみても、重点的に取り組むべき活動として4地区とも全体と同じ項目を、同じ順位で挙げています。

問37 あなたは今後、地域自治組織が進めるまちづくり活動に参加しますか。(1つに)

		1 ぜひ参加する	2 できれば参加したい	3 できれば参加したくない	4 参加しない	無回答	合計
木曽福島地区	人数	17	299	60	74	28	478
	割合	3.6%	62.6%	12.6%	15.5%	5.9%	100.0%
日義地区	人数	17	170	37	29	7	260
	割合	6.5%	65.4%	14.2%	11.2%	2.7%	100.0%
開田地区	人数	15	142	30	28	16	231
	割合	6.5%	61.5%	13.0%	12.1%	6.9%	100.0%
三岳地区	人数	20	151	22	26	14	233
	割合	8.6%	64.8%	9.4%	11.2%	6.0%	100.0%
無回答	人数	2	11		1	6	20
	割合	10.0%	55.0%		5.0%	30.0%	100.0%
合計	人数	71	773	149	158	71	1,222
	割合	5.8%	63.3%	12.2%	12.9%	5.8%	100.0%

今後の地域自治組織活動への参加の有無



今後、地域自治組織が進めるまちづくり活動に参加するかについては、「できれば参加したい」が63.3%、「参加しない」が12.9%、「できれば参加したくない」が12.2%、「ぜひ参加する」が5.8%などとなり、約7割の方が参加の意向を持っています。地区別にも、ほぼ同様の傾向を示しています。

問38 問37で「3 できれば参加したくない」「4 参加しない」とお答えになった方にお伺いします。参加しないのはなぜですか。(1つに)

		1 自治組織のメンバーに任せているから	2 地域のことにはあまり関心が無いから	3 忙しくて参加できないから	4 めんどうだから	5 自治組織の必要性を感じないから	6 その他	無回答	合計
木曽福島地区	人数	18	11	45	18	10	29	3	134
	割合	13.4%	8.2%	33.6%	13.4%	7.5%	21.6%	2.2%	100.0%
日義地区	人数	10	6	24	7	9	9	1	66
	割合	15.2%	9.1%	36.4%	10.6%	13.6%	13.6%	1.5%	100.0%
開田地区	人数	9	8	11	10	5	11	4	58
	割合	15.5%	13.8%	19.0%	17.2%	8.6%	19.0%	6.9%	100.0%
三岳地区	人数	8	3	16	2	3	10	6	48
	割合	16.7%	6.3%	33.3%	4.2%	6.3%	20.8%	12.5%	100.0%
無回答	人数		1						1
	割合		100.0%						100.0%
合計	人数	45	29	96	37	27	59	14	307
	割合	14.7%	9.4%	31.3%	12.1%	8.8%	19.2%	4.6%	100.0%

問37で「3 できれば参加したくない」「4 参加しない」と答えた方の参加しない理由については、「忙しくて参加できないから」が31.3%と最も高く、次いで「その他」が19.2%、「自治組織のメンバーに任せているから」が14.7%などとなっています。地区別にも、ほぼ同様の傾向を示しています。



第4編 調査票

木曾町まちづくりアンケート調査 ご協力をお願い

住民の皆様には、日頃から町政に対し格別のご協力を賜り厚くお礼申し上げます。
昨年11月1日に木曾福島町・日義村・開田村・三岳村の合併により、「木曾町」が誕生し、町では、豊かで住みよいまちづくりを進めるための指針となる第1次木曾町総合計画を策定することになりました。

本調査は、この新しい総合計画の策定に当たり、住民の皆様のご意見をお聞かせ願いたく実施するもので、18歳以上の町内居住者のなかから、2000名を無作為に抽出したところ、あなたにお答え願うことになりました。

調査内容は、同計画策定のための資料として使用させていただきます。回答者が特定されたり、個々の調査内容が他の目的に使用されたりすることはございません。お忙しいところ恐縮ですが、今後のまちづくりを皆様とともに考えていきたいと思っておりますので、調査の目的、趣旨をご理解のうえ、率直なご意見をお聞かせいただきたいと思います。

平成18年9月

木曾町長 田中勝己

【記入上のご注意】

- 宛て名のご本人がお答えください。
- お答えは、設問ごとに(1つに) (2つまで) などそれぞれ指定されていますので、お間違えのないよう気をつけてください。
は、番号を囲むように濃くつけてください。(例 1)
- ご記入いただいた調査票は9月29日(金)までに同封の返信用封筒に入れて返送してください。(切手は不要です。)
- この調査票についてのお問い合わせは、下記にお願いします。

木曾町役場企画調整課
電話 0264-22-4287
FAX 0264-24-3602

あなた自身のことについて

問1-1 あなたご自身のことについて、それぞれの項目ごとにあてはまる番号を選んで1つにをつけてください。

(1) 性別	1 男性	2 女性	
(2) 年齢	1 10歳代 4 40歳代 7 70歳以上	2 20歳代 5 50歳代	3 30歳代 6 60歳代
(3) 職業等	1 農業・林業・畜産業 3 会社員・公務員 5 家事従事者 7 無職	2 自営業 4 パート・アルバイト 6 学生 8 その他	
(4) 就学先・勤務先	1 町内 4 伊那地域 7 就学・勤務していない	2 郡内他町村 5 その他県内	3 松本・塩尻地域 6 その他県外
(5) 出身地	1 木曾町に生まれてからずっと住んでいる 2 木曾町出身だが、町外での居住経験がある 3 県内の他の市町村出身である 4 県外の出身である		
(6) 居住地	1 木曾福島地区 3 開田地区	2 日義地区 4 三岳地区	
(7) 居住年数	1 5年未満 3 10年以上20年未満	2 5年以上10年未満 4 20年以上	
(8) 子どもの有無	1 子どもがいる	2 子どもはいない	

問1-2 問1-1の(8)で「1 子どもがいる」とお答えになった方のみ、下記へ人数を記入してください。

(9) 子どもの年齢	1 高校生まで()人	2 大学生・成人()人
(10) 居住について	1 同居 ()人 3 県外居住 ()人	2 県内に居住 ()人

町の暮らしやすさについて

問2 あなたは、木曾町は住みよいと感じていますか。(1つに)

- 1 住みよい
- 2 まあまあ住みよい
- 3 あまり住みよくない
- 4 住みにくい

問3 あなたは、木曾町に「自分のまち」としての愛着をどの程度感じていますか。
あなたの住んでいる地域(合併前の旧町村単位)への愛着でも結構です。
(1つに)

- 1 とても愛着を感じている
- 2 愛着をやや感じている
- 3 愛着をあまり感じていない
- 4 愛着を感じていない

問4 あなたにとって、最も残しておきたい木曾町の良さは何ですか。(3つまで)

- 1 豊かな自然環境
- 2 健全な住環境
- 3 歴史・伝統
- 4 隣近所との付き合い
- 5 のどかな雰囲気
- 6 その他()

問5 あなたは、今後も木曾町に住み続けたいですか。(1つに)

- 1 ずっと住み続けたい
- 2 当分は住み続けたい
- 3 いずれ町外に転居したい
- 4 すぐに町外に転居したい
- 5 転居したいができない

各分野の満足度について

問6 木曽町の生活環境や施策の現状について、満足度、重要度を分野ごとにおたずねします。

各項目の現状についてどの程度満足していますか。それぞれの項目についてあてはまる番号をつけてください。

各項目についてどの程度重要だと思いますか。それぞれの項目についてあてはまる番号をつけてください。

評価等 項目		満足度					重要度				
		満足している	やや満足している	どちらともいえない	やや不満である	不満である	重要である	やや重要である	どちらともいえない	あまり重要でない	重要でない
例	(1)保健(健診・健康講座など)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
保健・医療・福祉	(1)保健(健診・健康講座など)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	(2)医療(病院・診療所・医院など)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	(3)高齢者への介護・福祉(デイサービスなど)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	(4)障害者への支援(ホームヘルプサービスなど)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	(5)子育て支援(保育園・児童館など)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
生活環境	(6)公園(児童公園など)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	(7)道路整備(道路改良・新設など)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	(8)道路の維持管理(除雪・側溝など)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	(9)公共交通(バス・鉄道など)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	(10)水道	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	(11)污水处理(下水道、集落配水、浄化槽)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	(12)ごみ収集・処理	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	(13)消防(救急体制の整備など)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	(14)防災(治山・治水・砂防・震災など)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	(15)交通安全(歩道の整備など)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
産業振興	(16)防犯(防犯・安全パトロールなど)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	(17)農林業振興(特産品の育成など)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	(18)工業振興(中小企業の育成など)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	(19)商業振興(商店街の活性化など)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	(20)観光振興(街並み・温泉・スキーなど)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	(21)雇用対策	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5

項目		評価等					重要度				
		満足度					重要度				
		満足している	やや満足している	どちらともいえない	やや不満である	不満である	重要である	やや重要である	どちらともいえない	あまり重要でない	重要でない
教育・文化	(22)学校教育	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	(23)生涯学習環境(公民館の講座など)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	(24)スポーツ振興(スポーツ講座など)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	(25)歴史・文化の保全・活用	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
行財政・まちづくり	(26)国際交流(海外派遣・姉妹都市提携など)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	(27)男女共同参画(会議への女性参画など)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	(28)地域の情報化(CATV網の普及など)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	(29)地域振興(地域自治組織の育成など)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	(30)行財政運営(行政改革など)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5

まちづくりの方向について

問7 あなたは、今後の木曾町はどのような方向のまちを目指すべきだと考えますか。
(主なもの3つまでに)

- 1 良好な生活環境の整った住宅のまち
- 2 高齢者や子ども、障害者を大切にする福祉のまち
- 3 台風や大雨、地震などの災害に強い防災のまち
- 4 道路や鉄道の機能を活かした交通要衝のまち
- 5 豊富な観光資源を活かした観光のまち
- 6 地域の特産物と資源を活かした農林畜産のまち
- 7 知識集団・研究組織が集中する知的産業のまち
- 8 歴史的な街並みを活かした伝統尊重のまち
- 9 芸術・文化・芸能を活かした芸術と文化のまち
- 10 学校教育や生涯学習が充実した教育と学習のまち
- 11 誰もがスポーツを楽しむスポーツの盛んなまち
- 12 その他(具体的に:)

保健・福祉について

問8 あなたは現在、「健康」だと思いますか。(はひとつ)

- | | |
|-----------|------------|
| 1 そう思う | 2 ややそう思う |
| 3 あまり思わない | 4 まったく思わない |

問9 あなたが健康のため、普段から心がけていることはありますか。(主なもの3つまでに)

- | |
|----------------------------------|
| 1 定期的に運動している |
| 2 ストレスをためないように気をつけている |
| 3 食事の量やバランスなどに気をつけている |
| 4 規則正しい生活を心がけている |
| 5 酒を飲まない、または飲む量に気をつけている |
| 6 たばこを吸わない、または吸う量に気をつけている |
| 7 趣味活動や地域活動に積極的に参加する意欲を持っている |
| 8 定期的に健康診断や人間ドックによる検診を受けるようにしている |
| 9 その他(具体的に:) |

問10 あなたはこの1年間に自治会・地域協議会や社会福祉協議会等のボランティア活動に参加しましたか。(1つに)

- | |
|-----------------|
| 1 . 参加した (問11へ) |
| 2 . 参加していない |

問11 問10で「1 参加した」を選んだ方にお伺いします。どんな分野の活動団体・グループですか。(あてはまるものすべてに)

- | |
|-------------------------|
| 1 健康づくりの活動 |
| 2 高齢者への支援 |
| 3 障害者への支援 |
| 4 子育て支援 |
| 5 文化・スポーツなど生涯学習活動 |
| 6 地域づくりのための活動(自治会活動を含む) |
| 7 防犯や防災など生活安全の活動 |
| 8 リサイクルなど環境活動 |
| 9 災害援助活動 |
| 10 その他(具体的に:) |

問12 あなたは、木曽町は近隣市町村と比べ、自治会・地域協議会や社会福祉協議会等のボランティア活動が活発だと思いますか。(1つに)

- | |
|-------------------------------|
| 1 活発である
2 活発でない
3 わからない |
|-------------------------------|

問13 介護保険サービスや障害者保健福祉サービス、保育サービスなどは、税や介護保険料などを財源として運営されています。あなたは、こうした福祉サービスと住民負担のあり方について、どのようにお考えですか。(1つに)

- | |
|---|
| 1 住民負担が高くなっても、必要な福祉サービスは充実していくべき
2 住民負担もサービスも標準レベル(全国平均など)をめざすべき
3 住民負担が高くなるなら、サービスの質と量は抑えるべき
4 わからない
5 その他(具体的に：) |
|---|

保健・福祉について

問14 あなたの住んでいる地区に対して以下のことをどう感じていますか。
(それぞれ1つに)

項目	そう 思う	やや そう思う	あまり 思わない	まったく 思わない
自分の住んでいる地区は近所づきあいや地域活動が活発な地区である	1	2	3	4
自分自身は積極的に近所づきあいや地域活動に参加している	1	2	3	4
自分の住んでいる地区は、困っている人を助ける仕組みができています	1	2	3	4
自分の住んでいる地区は、日頃から防犯のための目配りができています	1	2	3	4
自分の住んでいる地区は、災害が起こってもみんなで助け合えると思う	1	2	3	4
自分の住んでいる地区は、環境美化活動に熱心である	1	2	3	4

環境問題について

問15 あなたは、環境にやさしい生活のために次のことを実践していますか。

(それぞれ1つに)

項目	いつも行っている	だいたい行っている (7～9割)	時々行っている (4～6割)	あまり行っていない (1～3割)	まったく行っていない
ごみをきちんと分別する	1	2	3	4	5
ポイ捨てをしない	1	2	3	4	5
なるべく公共交通機関を利用する	1	2	3	4	5
風呂などの節水に心がけている	1	2	3	4	5

防災について

問16 あなたは、災害への備えのために次のことを実践していますか。

(それぞれ1つに)

項目	いつも行っている	行っている	あまり行っていない	まったく行っていない
防災備品の準備(懐中電灯、消火器、救急箱、非常用持出し袋など)	1	2	3	4
家具の転倒防止策	1	2	3	4
被災時の家族との連絡方法の確認	1	2	3	4
避難場所の確認	1	2	3	4

交通対策について

問17 あなたは、6月1日より木曾町内に新しい公共交通のシステムが導入されたことをご存知ですか?(1つに)

1 知っている (問18.問19へ)	2 知らない
--------------------	--------

問18 問17で「1 知っている」と回答された方にお聞きします。以前に比べて、どのように変わったかご存知ですか？(知っているものすべてに)

- 1 バスの運行主体が、民間のバス事業者から木曽町の町営に変わった
- 2 バスのダイヤが改正された
- 3 料金が安くなった
- 4 一部のバス路線が廃止された
- 5 新たに乗合タクシーが導入された
- 6 新たに巡回バスが導入された

問19 新しくなった公共交通システム(町営バス・乗合タクシー)を利用しましたか？(1つに)

- 1 利用した
- 2 利用していない

問20 公共交通(町営バス)に対するご意見があれば、ご自由にお書きください。

(自由意見)

地域情報化について

問21 あなたは、高度情報化社会に対応するため、町では今後どのような取り組みを重視すべきだと思われますか。(主なもの3つまでに)

- 1 高度情報通信網の整備促進など情報通信基盤の整備
- 2 町ホームページの充実などインターネット等を通じた情報提供の充実
- 3 申請・届出等手続の電子化など住民サービスのネットワーク化
- 4 住民票等各種証明書の自動交付機設置によるサービスの向上
- 5 保健・医療・福祉、生涯学習・文化・スポーツをはじめとする多様な分野での
情報サービスの提供
- 6 学校教育・生涯学習などでの情報教育の充実
- 7 情報化に対応した個人情報保護対策の充実
- 8 その他(具体的に：)

産業振興策について

問22 あなたは、町の農林畜産業を振興するため、今後どのようなことに特に力を入れるべきだと思われますか。（主なもの3つまでに ）

- 1 農林道、用・排水施設の整備や農地整備など生産基盤の充実
- 2 優良農地の保全
- 3 農地の集約や農作業受委託などによる経営規模の拡大
- 4 農林畜産業生産グループ・団体づくりや育成施策の強化
- 5 農林畜産業後継者の育成
- 6 先端技術などの積極的導入（新品種、情報システムの導入など）
- 7 地場特産品の開発、主産地形成の促進
- 8 農林畜産物を利用した加工食品の開発
- 9 体験農林業、観光農林業、町民農園などの振興
- 10 低農薬・有機栽培など環境にやさしい農業の振興
- 11 産直の推進ならびに流通・販売体制の確立
- 12 現状のままでよい
- 13 その他（具体的に： ）

問23 あなたは、町の商工業を振興するため、今後どのようなことに特に力を入れるべきだと思われますか。（主なもの2つまでに ）

- 1 中心市街地の商業環境の整備
- 2 商業イベントの開催や消費者サービスなど販売促進対策の充実
- 3 商業経営の近代化やサービスの向上のための支援の充実
- 4 既存企業の育成・振興
- 5 知識集団・研究組織など優良企業の誘致
- 6 起業家への支援や新産業の開発・育成
- 7 現状のままでよい
- 8 その他（具体的に： ）

問24 あなたは、町の観光・レクリエーション開発・振興のために、今後どのようなことに特に力を入れるべきだと思いますか。（主なもの2つまでに ）

- | | |
|----|--|
| 1 | まちの歴史・文化・街並みをテーマとした観光機能の充実 |
| 2 | 河川や森林を利用した水と緑にふれられる観光機能の充実 |
| 3 | 農業体験観光などまちの産業と連携した観光機能の充実 |
| 4 | イベントや祭りの内容の充実 |
| 5 | 温泉を活用した観光機能の充実 |
| 6 | スキー場を活用した観光機能の充実 |
| 7 | 既存施設を利用したスポーツ合宿や学術研究合宿による誘客の促進 |
| 8 | 接客サービスの向上やトイレなどの充実による観光機能の充実 |
| 9 | わかりやすい観光案内板の整備 |
| 10 | 広域的な連携による観光ルートの設定 |
| 11 | モデル的な観光ルートマップの作成 |
| 12 | 観光開発は、自然環境や生活環境の悪化につながりかねないので進めるべき
ではない |
| 13 | その他（具体的に： ） |

学習・スポーツなどについて

問25 町の小・中学校の教育について、どう感じていますか。（それぞれ1つに ）

項目	そう 思う	どちらで もない	そうは 思わない	わから ない
ゆとりを持った教育を行っている	1	2	3	4
基礎学力を定着する教育ができてい る	1	2	3	4
個性を尊重する教育を行っている	1	2	3	4
豊かな自然の中での体験学習を行っ ている	1	2	3	4
地域に開かれた学校運営ができてい る	1	2	3	4
子どもたちが先生を尊敬している	1	2	3	4
いじめや荒れが少ない	1	2	3	4

問26 あなたは、町のスポーツ大会、教室等に参加したことがありますか。(1つに)

- 1 現在、参加している
- 2 以前、参加したことがある
- 3 参加したことはないが、今後はしてみたい
- 4 参加したことはないし、今後もしたくない

問27 あなたは、町が主催する学習講座に参加したことがありますか。(1つに)

- 1 現在、参加している
- 2 以前、参加したことがある
- 3 参加したことはないが、今後はしてみたい
- 4 参加したことはないし、今後もしたくない

問28 町内で実施される文化・芸術鑑賞では、こういった分野を充実してほしいですか。
(主なもの2つまでに)

- 1 音楽鑑賞
- 2 絵画・陶芸など芸術作品の鑑賞
- 3 演劇鑑賞
- 4 映画鑑賞
- 6 落語・漫才など
- 6 社会・経済・地域づくり等に関する講演会
- 7 その他(具体的に:)

問29 あなたは、外国人と何らかの交流(親しくつきあう、お世話をするなど)をしたことがありますか。(1つに)

- 1 現在、外国人と交流している
- 2 以前、外国人と交流したことがある
- 3 外国人と交流したことはないが、今後はしてみたい
- 4 外国人と交流したことはないし、今後もしたくない



男女共同参画について

問30 あなたは、今からあげるような分野で男女の地位は平等になっていると思いますか。
 ~ のそれぞれについて、どちらかが優遇されている、または平等と思うという1
 ~ 6の番号に をつけてください。

項 目	男性の方 が非常に 優遇され ている	どちらか といえば 男性の方 が優遇さ れている	平等	どちらか といえば 女性の方 が優遇さ れている	女性の方 が非常に 優遇され ている	わから ない
社会全体では	1	2	3	4	5	6
家庭生活では	1	2	3	4	5	6
職場では	1	2	3	4	5	6
学校教育の場では	1	2	3	4	5	6
政治の場では	1	2	3	4	5	6
法律や制度の上で は	1	2	3	4	5	6
社会通念・慣習 しきたりなどでは	1	2	3	4	5	6

問31 今後、あなたが、男女が社会のあらゆる分野でもっと平等になるために最も重要と
 思うことは何でしょうか。(1つに)

1	法律や制度の上での見直しを行い、女性差別につながるものを改めること
2	女性を取り巻く様々な偏見、固定的な社会通念、慣習・しきたりを改めること
3	女性自身が経済力をつけたり、知識・技術を習得するなど、積極的に力の向上を図ること
4	女性の就業、社会参加を支援する施設やサービスの充実を図ること
5	政府や企業などの重要な役職に一定の割合で女性を登用する制度を採用・充実すること
6	その他()
7	わからない

行政運営について

32 あなたは、役場の仕事ぶりをどう感じていますか。(それぞれ1つに)

項 目	そう 思う	ややそう 思う	あまり そうは 思わない	そうは 思わない
仕事のやり方が計画的でない	1	2	3	4
職員にコスト意識がない	1	2	3	4
利用時間が不便である	1	2	3	4
手続きが煩雑である	1	2	3	4
効果の少ない事業が多い	1	2	3	4
住民の意向をあまり反映していない	1	2	3	4

町村合併について

問33 木曽町に合併したことにより、合併前と比べてあなたの地域はどう変わりましたか。
(1つに)

- 1 合併して良くなった
- 2 合併して少し良くなった
- 3 特に何も変わらない
- 4 合併して少し悪くなった
- 5 合併して悪くなった
- 6 その他(具体的に:)

問34 木曽町に合併したことにより、役場の住民サービスはどう変わりましたか。
(1つに)

- 1 大変効果があった
- 2 少しは効果があった
- 3 特に効果は感じられない
- 4 少し住民サービスが低下した
- 5 大きく住民サービスが低下した
- 6 わからない

地方自治組織について

問35 あなたの地域(旧町村地域)で、地域自治組織が発足したことをご存知ですか。(1つに)

- | | |
|---------|--------|
| 1 知っている | 2 知らない |
|---------|--------|

問36 あなたは今後、地域自治組織がどのような活動を重点的に取り組むべきだと考えますか (3つまでに)

- | |
|------------------------------------|
| 1 通学路の見守り活動や防災訓練等、安心・安全な地域づくりに関する事 |
| 2 地域の自然環境や景観の保全に関する事 |
| 3 子供センター等の子育て支援に関する事 |
| 4 一人暮らしのお年寄りへの声掛け等身近な生活支援に関する事 |
| 5 生活道路やお年寄りの住宅等での除雪に関する事 |
| 6 農林産物等による特産品の開発と販売に関する事 |
| 7 観光イベント等の開催に関する事 |
| 8 伝統行事や文化の伝承に関する事 |
| 9 その他(具体的に:) |

問37 あなたは今後、地域自治組織が進めるまちづくり活動に参加しますか。(1つに)

- | |
|---------------|
| 1 ぜひ参加する |
| 2 できれば参加したい |
| 3 できれば参加したくない |
| 4 参加しない |

問38 問37で「3 できれば参加したくない」「4 参加しない」とお答えになった方にお伺いします。参加しないのはなぜですか。(1つに)

- | |
|---------------------|
| 1 自治組織のメンバーに任せているから |
| 2 地域のことにはあまり関心が無いから |
| 3 忙しくて参加できないから |
| 4 めんどうだから |
| 5 自治組織の必要性を感じないから |
| 6 その他(具体的に:) |

